

平成20年度危機管理研修会
平成20年9月19日(金)9:30-10:00
国立感染症研究所共用第1会議室



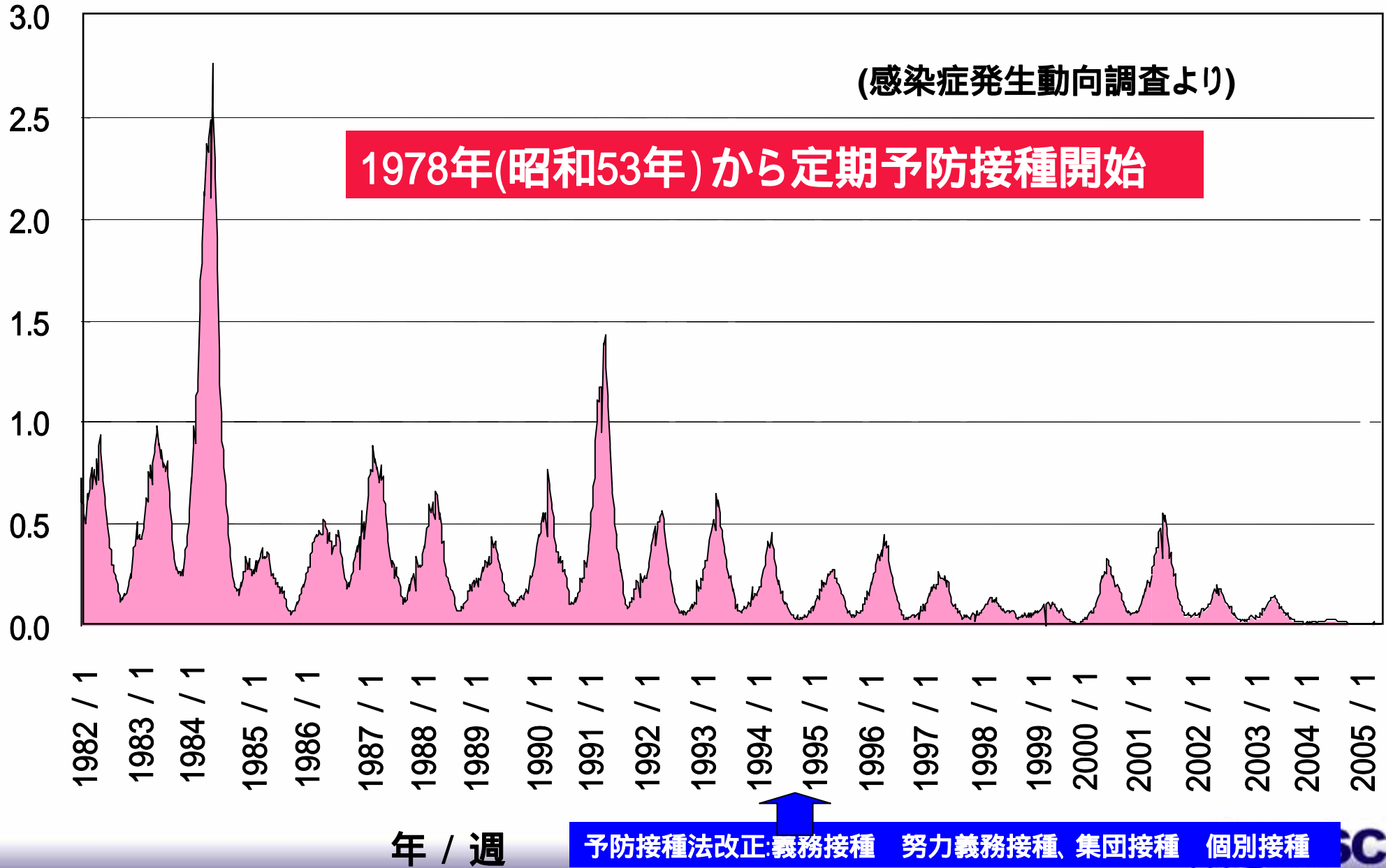
麻疹排除計画初年度の状況

国立感染症研究所 感染症情報センター
多屋 馨子



小児科定点あたり麻疹患者報告数，1982年1週～2005年13週

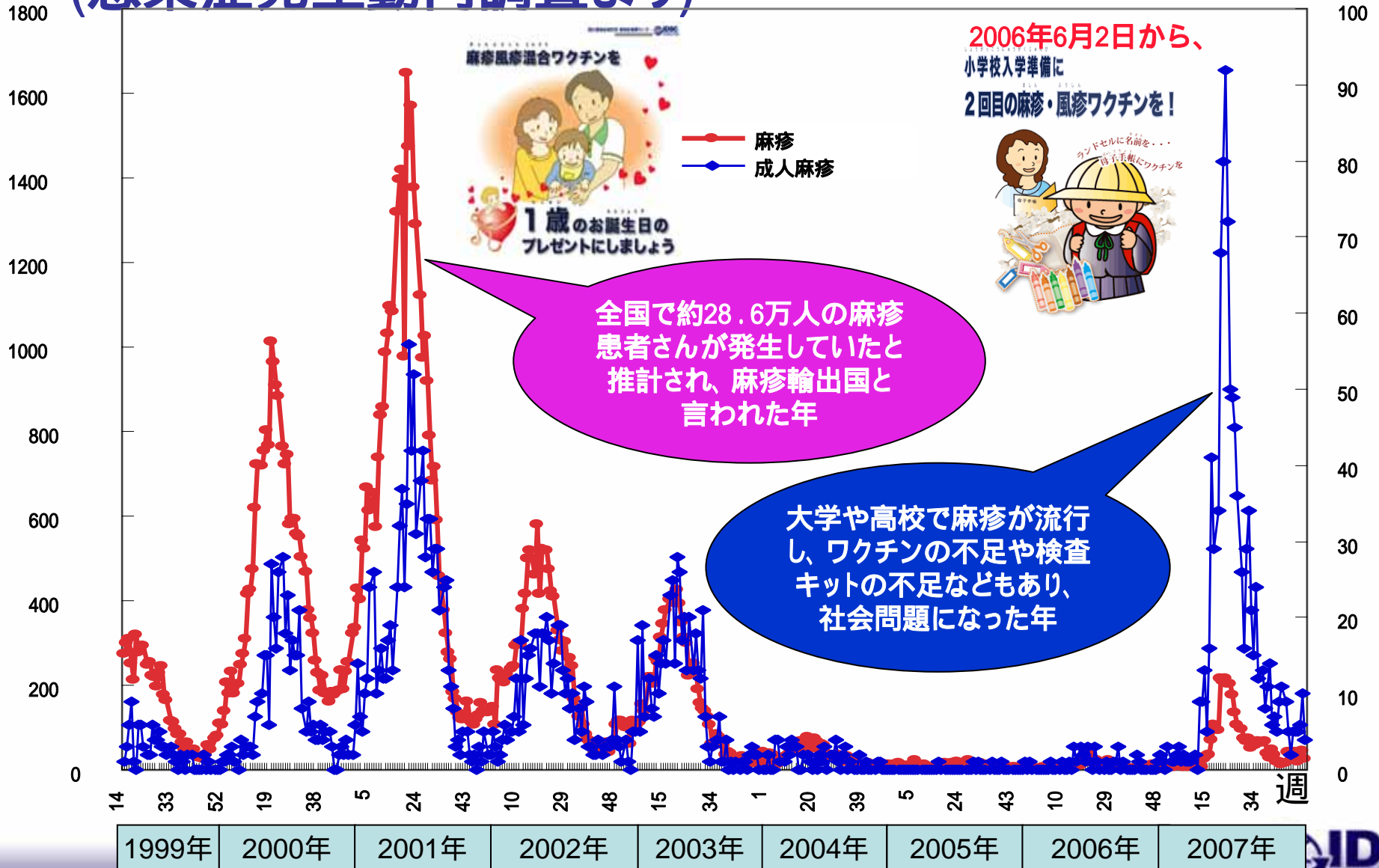
定点あたり麻疹患者報告数



麻疹/成人麻疹患者報告数, 1999年14週 ~ 2007年52週 (感染症発生動向調査より)

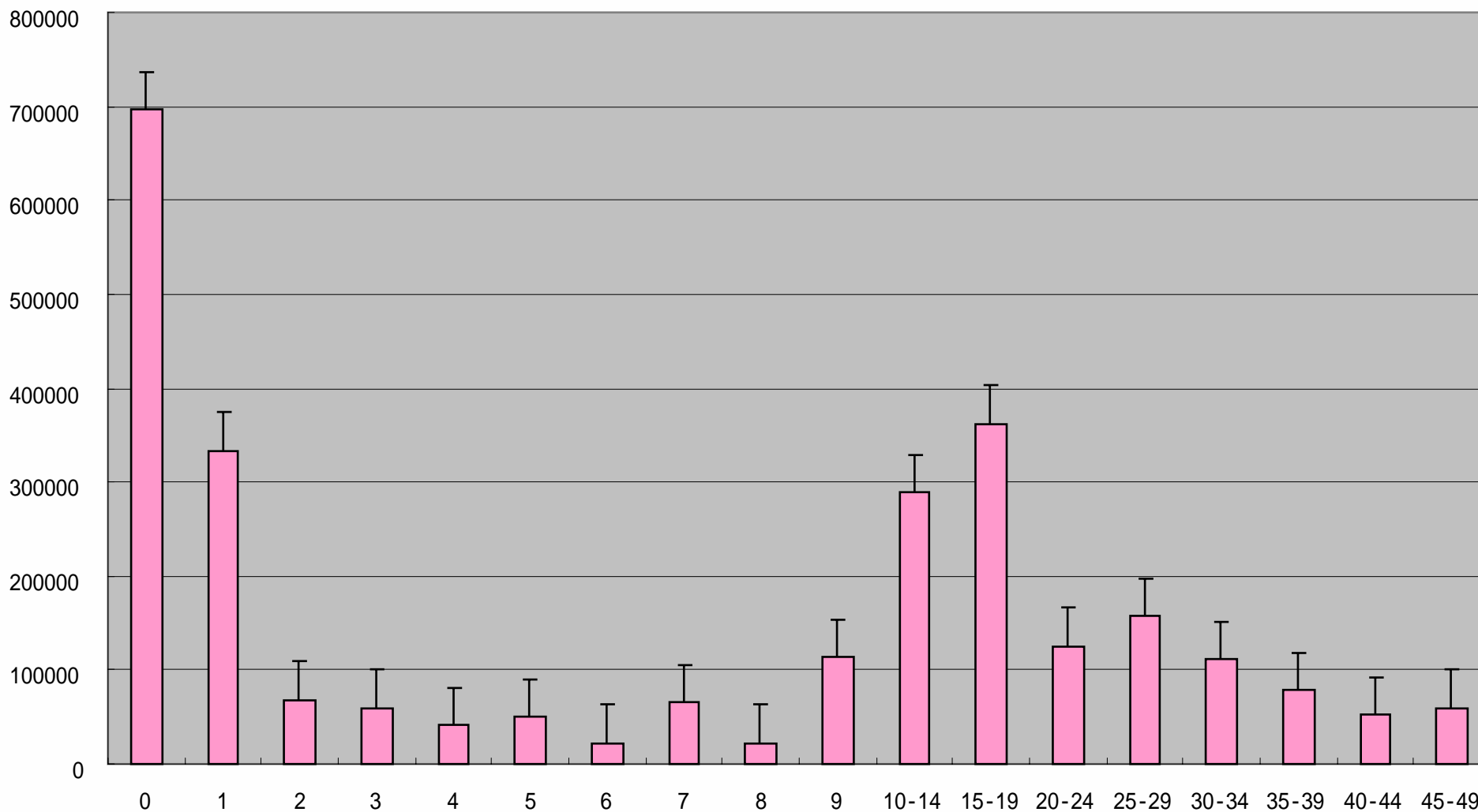
累積麻疹患者報告数小児科定点より

累積成人麻疹患者報告数基幹定点より



麻疹に対する免疫を持っていない人は日本にどのくらいいるか？ (2006年度感染症流行予測調査より推計)

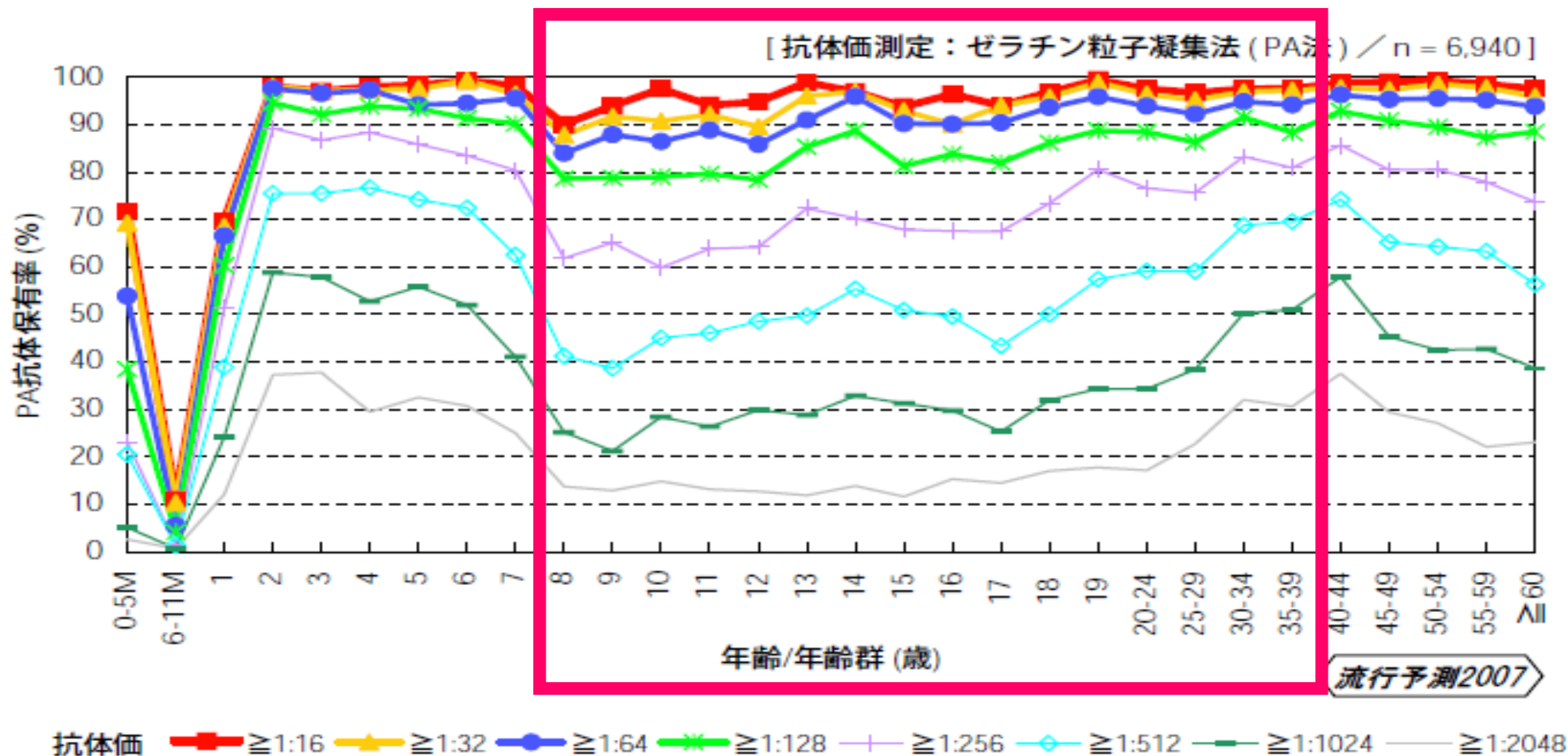
推計感受性人口：人



年齢群

年齢/年齢群別 麻疹PA抗体保有状況

～ 2007年度感染症流行予測調査より (2008年4月現在暫定値) ～



麻疹に関する特定感染症予防指針 厚生労働大臣告示:2007年12月28日

**感染症法第十一条第一項及び予防接種法
第二十条第一項の規定により告示し、
平成20年1月1日から適用する。**

……こうした麻疹の感染力及び重篤性
並びに流行した場合には社会に与える
影響等にかんがみると、**行政関係者や
医療関係者はもちろんのこと国民1人1人が
その予防に積極的に取り組んでいくことが
極めて重要である。**

○厚生労働省告示第四四二号

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第十一条第一項及び予防接種法（昭和二十三年法律第六十八号）第二十条第一項の規定に基づき、麻疹に関する特定感染症予防指針を次のように策定したので、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第十一条第一項及び予防接種法第二十条第四項の規定により告示し、平成二十年一月一日から適用する。

平成十九年十二月二十八日

麻疹に関する特定感染症予防指針

麻疹は、「はしか」とも呼ばれ、三十九度前後の高熱と耳後部から始まり体の下方へと広がる赤い発疹を特徴とする全身疾患である。感染力が非常に強い上、罹患すると、まれに急性脳炎を発生し、精神発達遅滞等の重篤な後遺症が残る。又は、死亡することがある。さらに、よりまれではあるが、亜急性硬化性全脳炎という特殊な脳炎を発生することがあり、この脳炎を発生した場合には、多くは知能障害や運動障害等が進行した後、数年以内に死亡する。こうした麻疹の感染力及び重篤性並びに流行した場合に社会に与える影響等にかんがみると、行政関係者や医療関係者はもちろんのこと、国民一人一人が、その予防に積極的に取り組んでいくことが極めて重要である。

厚生労働大臣 舛添 要一

排除 (Elimination) の定義

- 輸入例を除き麻疹確定例が1年間に人口100万人当たり1例未満であること
- 全数報告などの優れたサーベイランスが実施されていること
- 2回の予防接種率がそれぞれ95%以上であること
- 輸入例に続く集団発生が小規模であること、等

2007年度 麻疹・風疹ワクチン第2期接種率調査

厚生労働省結核感染症課調査より

2008年3月31日現在の第2期麻疹含有ワクチンの接種率は、全国で87.9%でした。
同じく風疹含有ワクチンの接種率は、88.2%
でした。

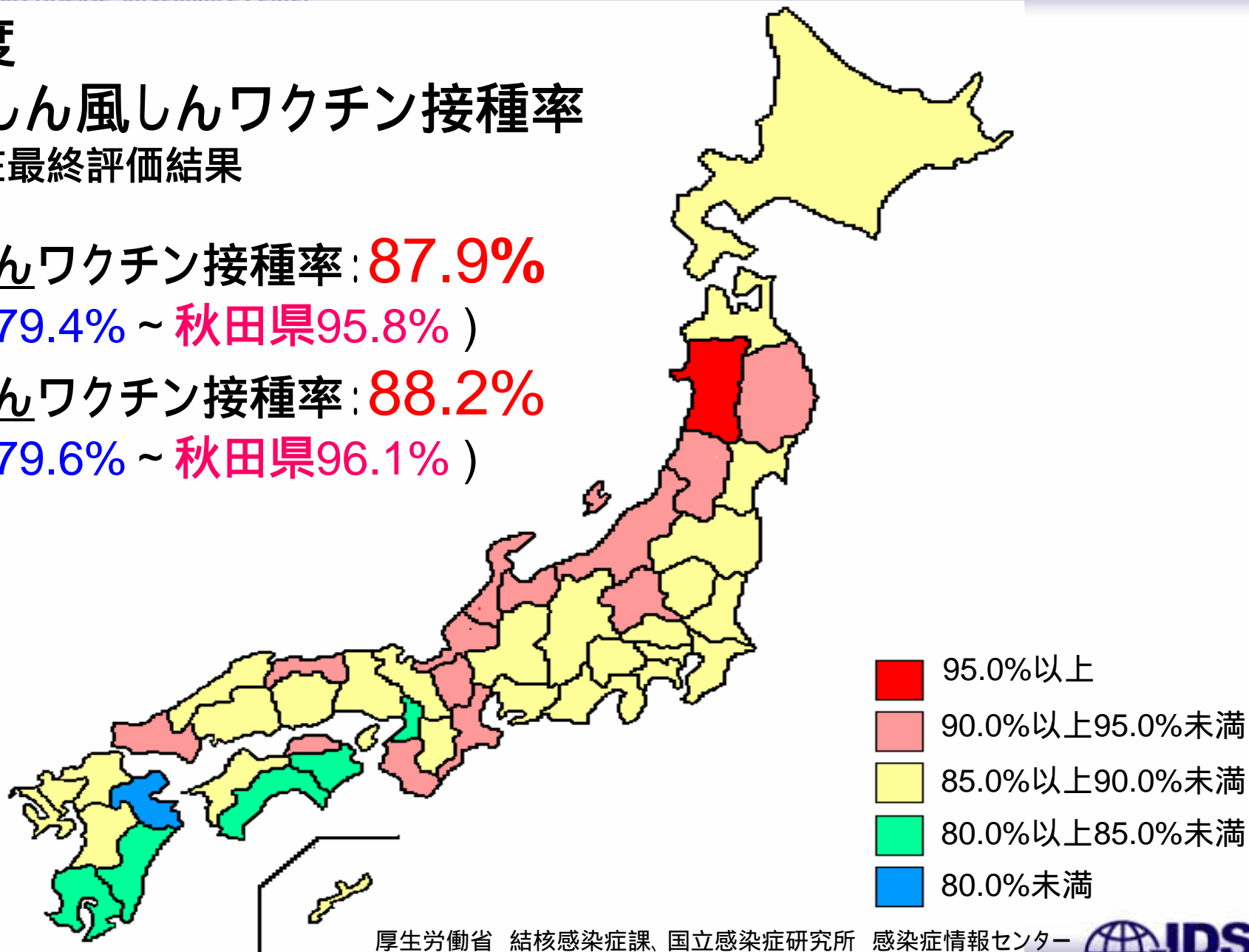
* 2006年度(初年度)の第2期麻疹含有ワクチンの接種率(予防接種で予防可能疾患の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究(主任研究者:岡部信彦、分担研究者:多屋馨子、研究協力者:山本久美)は79.9%で、8ポイント増加したものの、目標の95%以上には残念ながら到達しませんでした。

2007年度 第2期麻しん風しんワクチン接種率

5月30日現在最終評価結果

第2期 麻しんワクチン接種率: **87.9%**
(大分県79.4% ~ 秋田県95.8%)

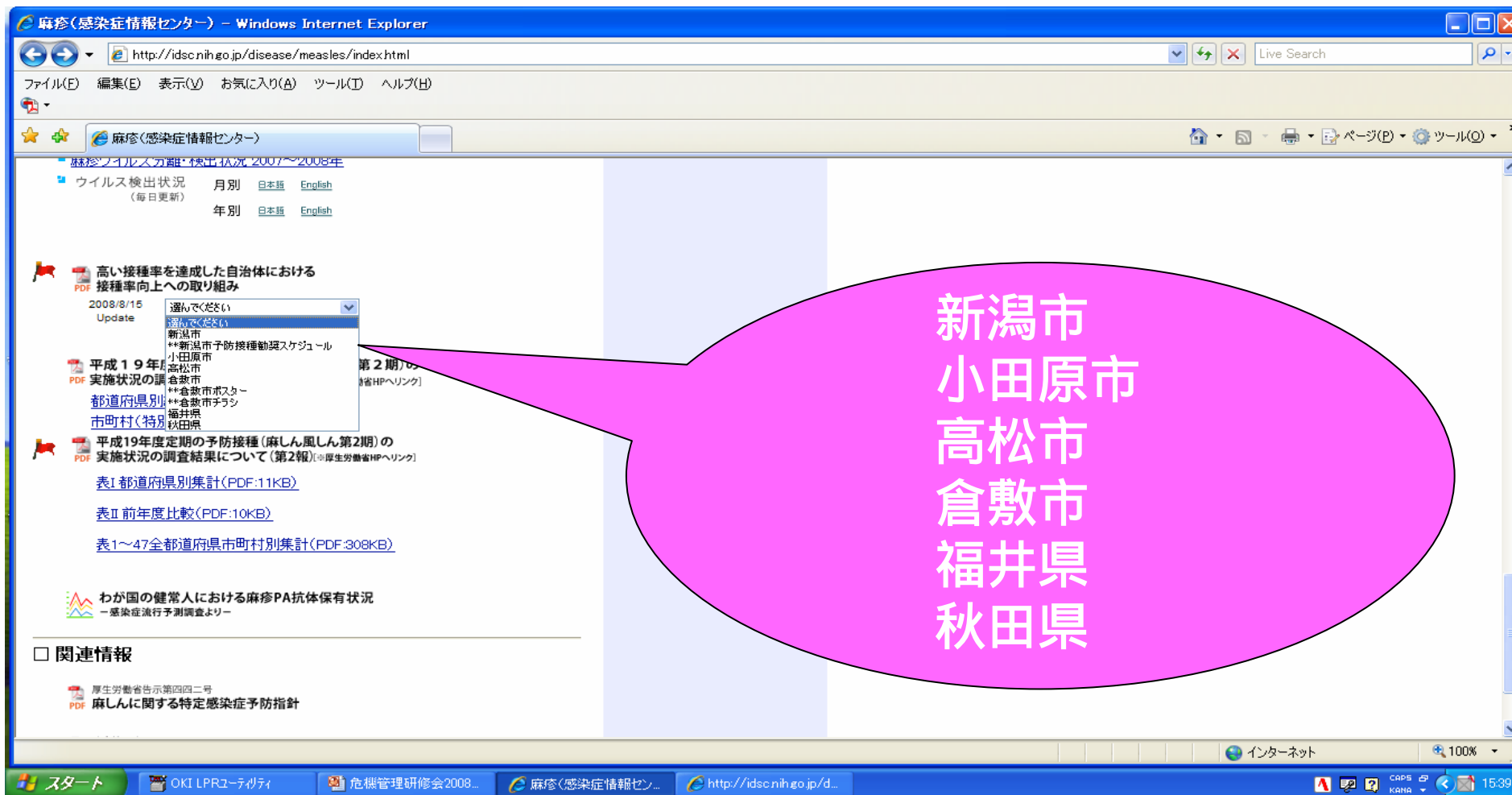
第2期 風しんワクチン接種率: **88.2%**
(大分県79.6% ~ 秋田県96.1%)



		第2期麻疹ワクチン接種率 (%)		前年度との比較 (ポイント)
2007年度結果 による順位	都道府県	2007年度 ①	2006年度* ②	①-②
1	秋田県	95.8	90.4	5.4
2	新潟県	94.7	88.1	6.6
3	福井県	94.4	91.4	3.0
4	山形県	92.5	86.4	6.1
5	富山県	92.3	85.6	6.7
6	岩手県	91.9	85.1	6.8
7	三重県	91.3	88.3	3.0
8	石川県	91.2	82.0	9.2
	山口県	91.2	86.9	4.3
10	滋賀県	90.9	83.1	7.8
11	鳥取県	90.3	77.5	12.8
12	香川県	90.2	78.2	12.0
13	群馬県	90.1	76.8	13.3
14	和歌山県	90.0	78.1	11.9
15	兵庫県	89.9	82.2	7.7
16	島根県	89.8	82.1	7.7
	北海道	89.7	81.2	8.5
17	長野県	89.7	83.0	6.7
	広島県	89.7	78.7	11.0
20	静岡県	89.4	84.5	4.9
	熊本県	89.4	79.2	10.2
22	愛媛県	89.3	84.1	5.2
23	青森県	89.1	81.8	7.3
	茨城県	89.1	83.8	5.3
25	京都府	88.8	72.9	15.9
26	千葉県	88.7	81.9	6.8
	愛知県	88.7	83.7	5.0
28	山梨県	88.6	66.6	22.0
	岐阜県	88.6	80.9	7.7
30	奈良県	88.4	79.0	9.4
31	宮城県	88.2	80.8	7.4
32	神奈川県	88.0	79.4	8.6
33	東京都	87.2	77.9	9.3
34	沖縄県	87.1	76.0	11.1
35	福島県	87.0	75.3	11.7
36	佐賀県	86.7	78.5	8.2
37	長崎県	86.5	74.1	12.4
38	福岡県	86.4	71.3	15.1
39	岡山県	86.3	75.0	11.3
40	埼玉県	86.1	80.5	5.6
41	栃木県	85.8	75.4	10.4
42	宮崎県	84.7	75.4	9.3
43	徳島県	84.1	75.4	8.7
44	鹿児島県	83.8	74.3	9.5
45	高知県	80.9	70.6	10.3
46	大阪府	80.1	74.3	5.8
47	大分県	79.4	72.8	6.6
	全国	87.9	79.9	8.0

* 厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業「予防接種で予防可能疾患の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究」(主任研究者:岡部信彦 国立感染症研究所感染症情報センター)調べ(回収率82.7%)

接種率の高かった自治体の紹介



The screenshot shows a web browser window displaying the IDSC website. A pink callout bubble highlights the following municipalities and prefectures:

- 新潟市
- 小田原市
- 高松市
- 倉敷市
- 福井県
- 秋田県

The website content includes a navigation menu, a search bar, and several news items. The main news item is titled "高い接種率を達成した自治体における接種率向上への取り組み" (Measures to improve vaccination rates in municipalities that have achieved high vaccination rates). It lists several municipalities: 新潟市, 小田原市, 高松市, 倉敷市, 福井県, and 秋田県. Below the news items, there are links to PDF reports: "表I 都道府県別集計(PDF:11KB)", "表II 前年度比較(PDF:10KB)", and "表1~47全都道府県市町村別集計(PDF:308KB)".

< 速報 > 福井県の高いIMR第2期接種率は どのようにして達成されたか？ IASRより抜粋

福井県では2003(平成15)年度から予防接種の未接種者を把握するシステムが稼働

未接種者に対して、個別に勧奨することが可能

福井県の平成18年度MR第2期接種率は91.4%で**全国1位**

平成19年度は94.4%に上昇したものの、**全国3位**

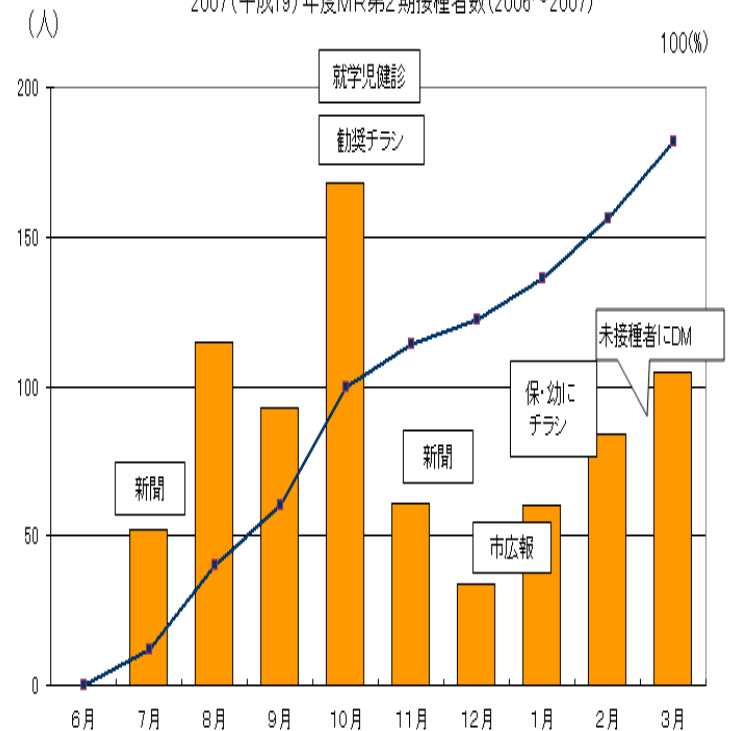
高い接種率が維持されている要因について検討

- (1) 情報提供、広報等
- (2) 就学時健診
- (3) 個別勧奨

高い接種率を目指すために最も重要なのは、未接種者をいつでも容易に特定できるシステムが整備されていることである。

さまざまな勧奨チラシ、教育活動、マスコミを使った広報活動などは大切なものであり、一定の効果がある。しかし、このような不特定多数に向けた勧奨の効果には限界があり、さらに**高い接種率を目指すには「のんびり」組や「うっかり」組に対する個別勧奨が不可欠であることがわかる。**

2007(平成19)年度MR第2期接種者数(2006~2007)



IASR

Infectious Agents Surveillance and Report

「予防接種管理システム」のお知らせ

自治体向けに、予防接種率調査がすぐできる新たな予防接種管理システムを構築しました。ご希望の自治体に、CD-Rでお届けします。
今後、予防接種管理について、電子化を検討される自治体へ無償提供いたします。ご検討されている自治体はご連絡ください。

連絡先

国立感染症研究所感染症情報センター大日(おおくさ)康史

ohkusa@nih.go.jp

「予防接種管理システム」の特徴

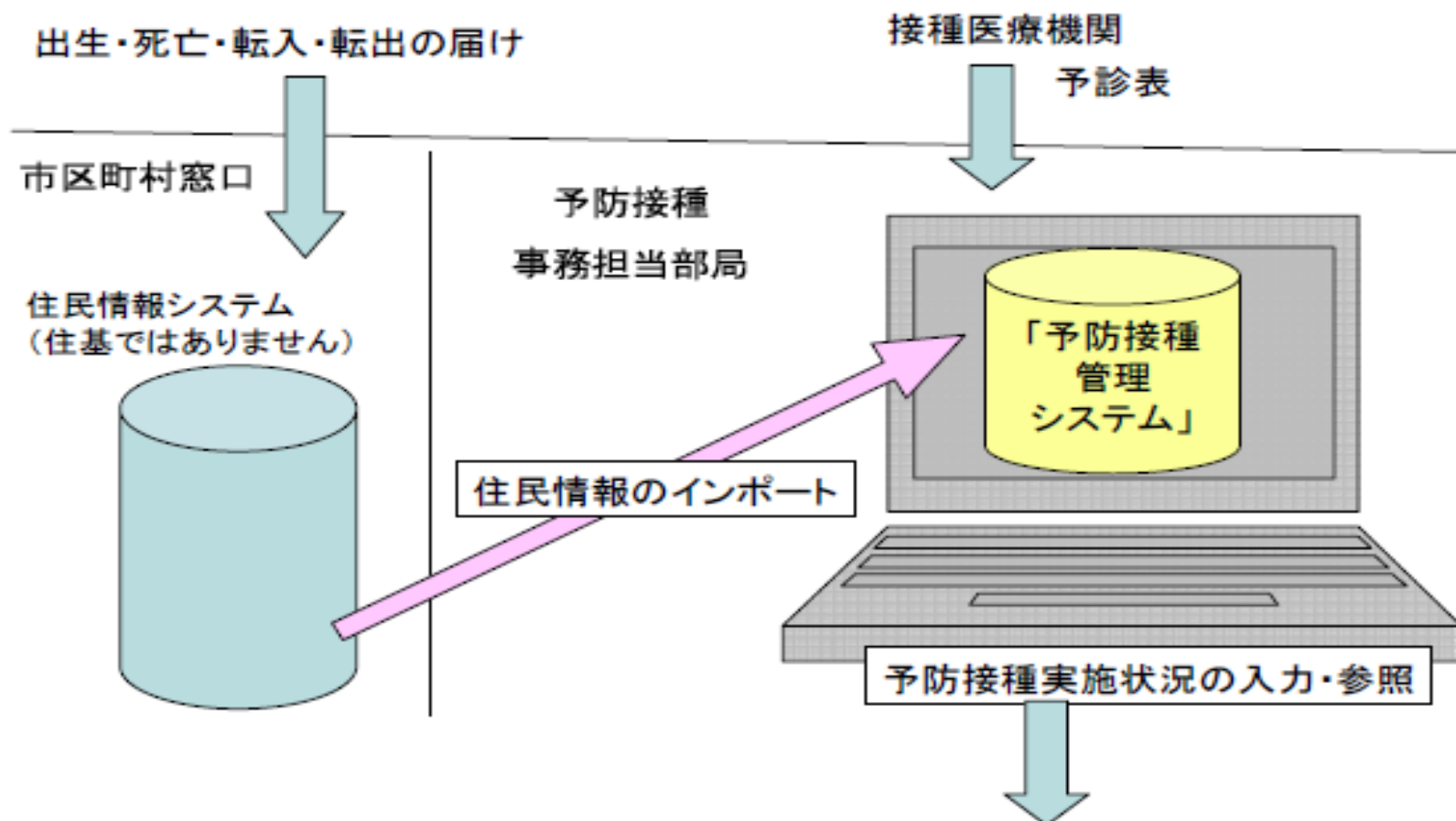
特に、麻しん予防接種の第3期、第4期の接種率の迅速な把握のために構築しました。

外部ネットワークには接続しないシステムです。

主な機能

- ◆接種対象者の把握（未接種者リストの作成）ができます。
- ◆個人別予防接種状況の把握ができます。
- ◆リアルタイムな接種率の自動的な算定ができます。
- ◆接種歴情報の提供ができます。

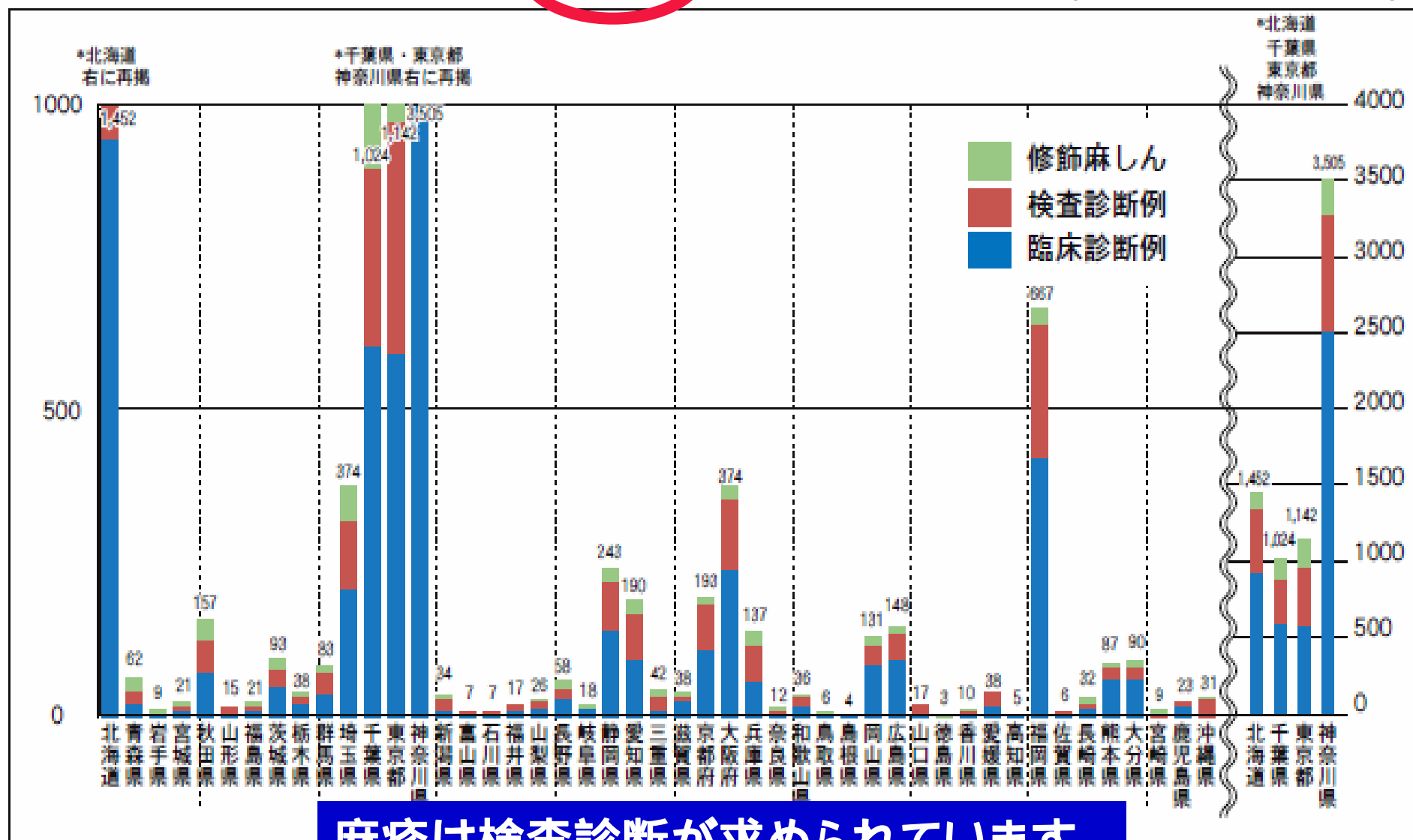
システムの概要



接種率の自動的な算定、未接種者への勧奨、接種歴情報の提供が可能に

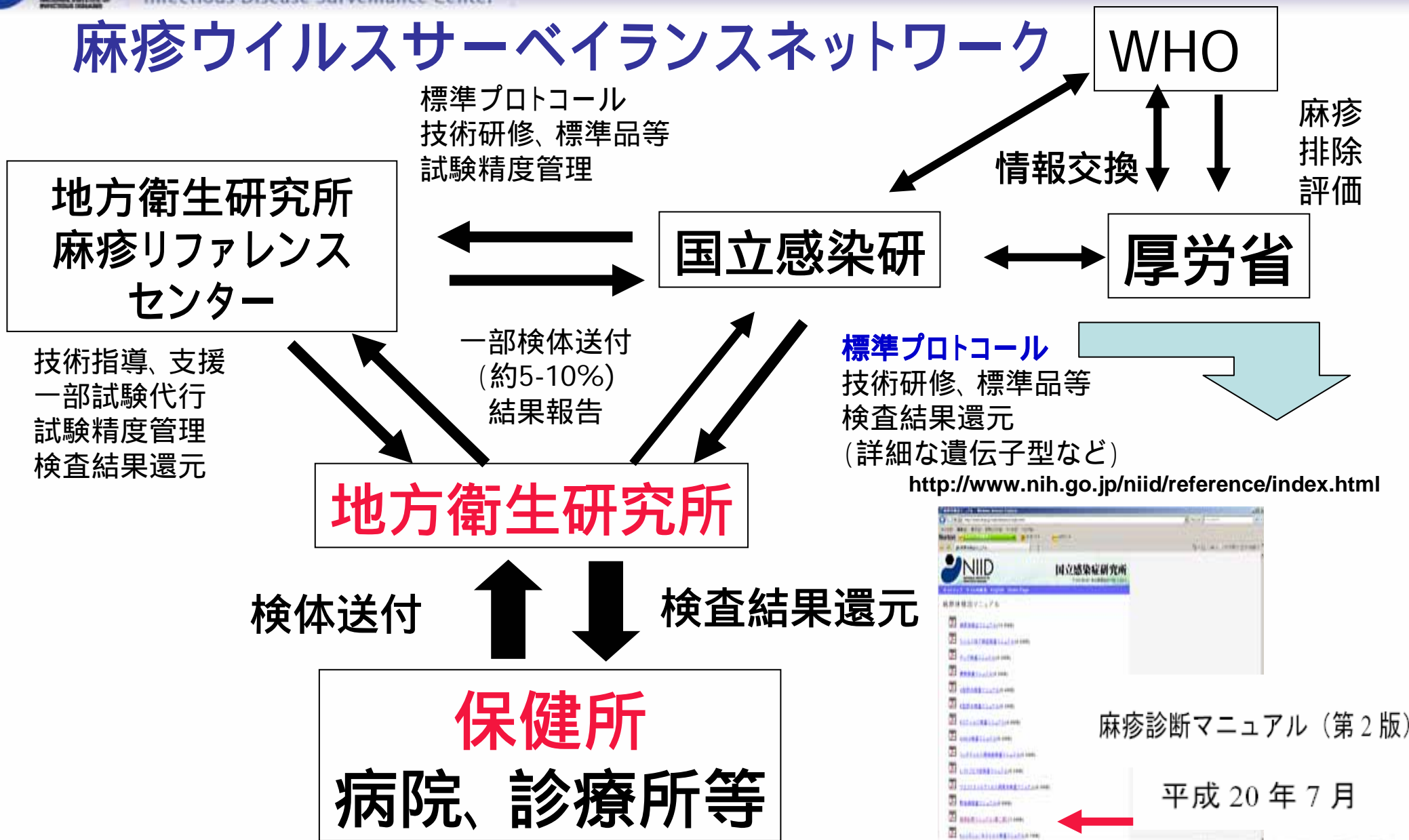
3. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 (n=10,735) 2008年第1週-36週

(2008/1/1 ~ 9/7)



麻疹は検査診断が求められています。

麻疹ウイルスサーベイランスネットワーク



麻疹診断マニュアル (第2版)

平成 20 年 7 月

麻疹(感染症情報センター) - Windows Internet Explorer

http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html

詐欺サイトの監視がオンです

2008~2012年度(平成20~24年度)
麻疹・風疹の定期予防接種対象者 西暦 和暦
~ 接種期間別生年月日早見表 ~

□ 対策・ガイドラインなど

麻疹の現状と今後の麻疹対策について
国立感染症研究所 感染症情報センター

- 2008/3/25 Update **都道府県における麻疹対策会議のガイドライン**
厚生労働省 健康局 結核感染症課 / 国立感染症研究所 感染症情報センター
- 2008/4/8 Update **学校における麻疹対策ガイドライン**
国立感染症研究所 感染症情報センター 作成 / 文部科学省・厚生労働省 監修
- 2008/2/1 Update **麻疹排除に向けた積極的疫学調査ガイドライン 第二版**
国立感染症研究所 感染症情報センター
- 2008/1/11 Update **医師による麻疹届出ガイドライン 第二版**
国立感染症研究所 感染症情報センター
- 2008/1/24 Update **医療機関での麻疹対応ガイドライン 第二版**
国立感染症研究所 感染症情報センター

参考資料 教育機関における麻疹(はしか)患者調査票
※エクセル形式でダウンロードできますので、どうぞご利用下さい。

1. 保育園・幼稚園等における麻疹(はしか)患者調査票 乳幼児用(例)
2. 学校等における麻疹(はしか)患者調査票 児童・生徒・学生用(例)
3. 保育園・幼稚園・学校等における麻疹(はしか)患者調査票 教職員・スタッフ用(例)

2008/3/4 Update 「麻疹対策ブロック会議」関連資料等

****お知らせ****

はしかの病状、一人一人の診断や予防接種の受け方等については、かかりつけの医師、お住まいの地域の医療機関、医師会、保健所(保健センター)などにお尋ね下さい。

※PDFファイルをご覧になるには、**Adobe Reader(無料)**が必要です。

Get ADOBE® READER®

※ファイルのダウンロードに関する情報は[こちら](#)をご覧ください。

1. 都道府県における麻疹対策会議のガイドライン

2. 学校における麻疹対策ガイドライン

3. 麻疹排除に向けた積極的疫学調査ガイドライン

4. 医師による麻疹届出ガイドライン

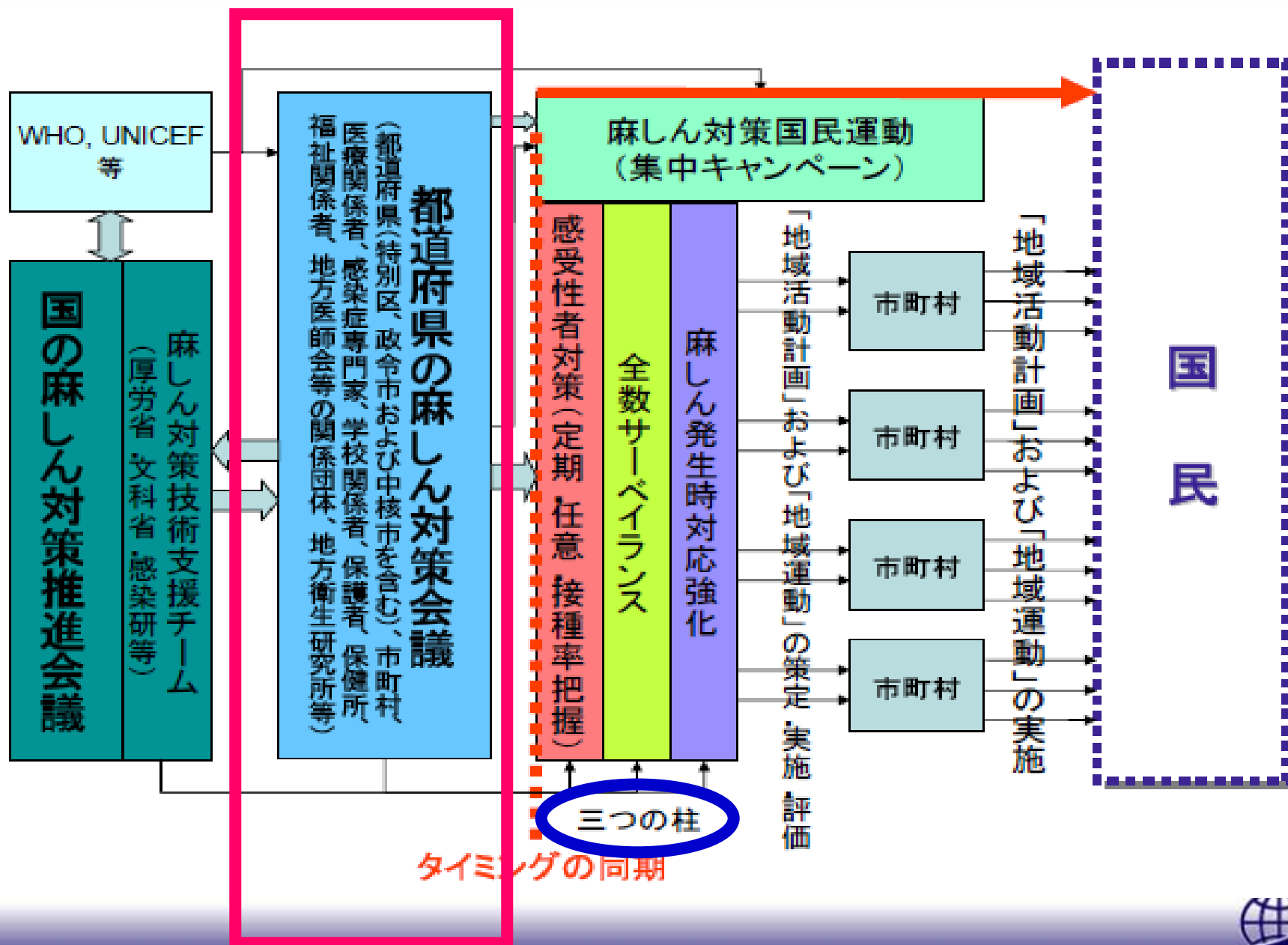
5. 医療機関での麻疹対応ガイドライン

各種ガイドライン作成

ページが表示されました

http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html

スタート OK! LPR... 送信... Outlook... 麻疹(感染症情報セン... Microsoft PowerPoin... Norton 19:00



7月14日現在「麻しん対策会議」等の有無と、

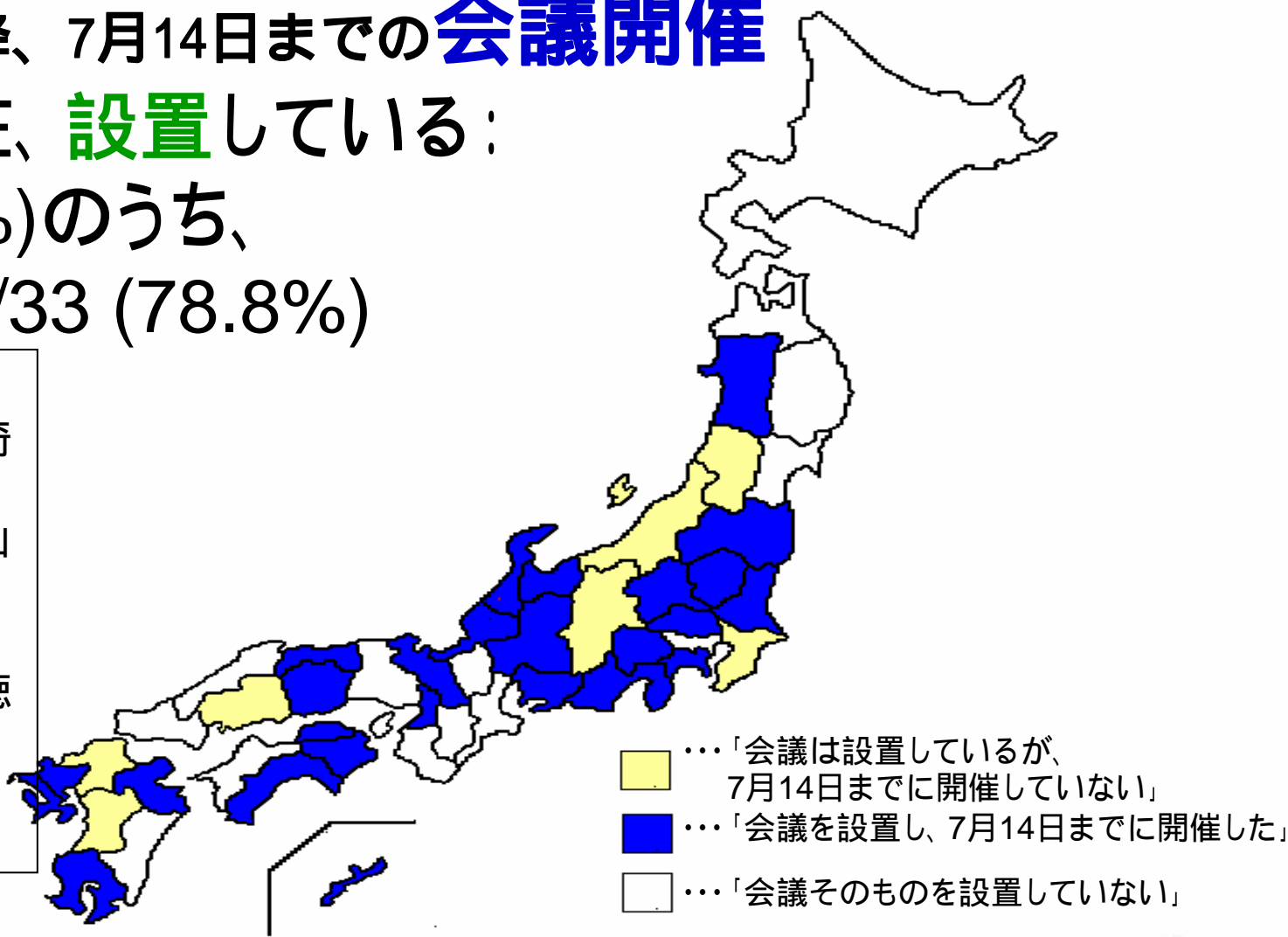
平成20年1月以降、7月14日までの**会議開催**

7月14日現在、**設置**している：

33/47(70.2%)のうち、

開催した：26/33 (78.8%)

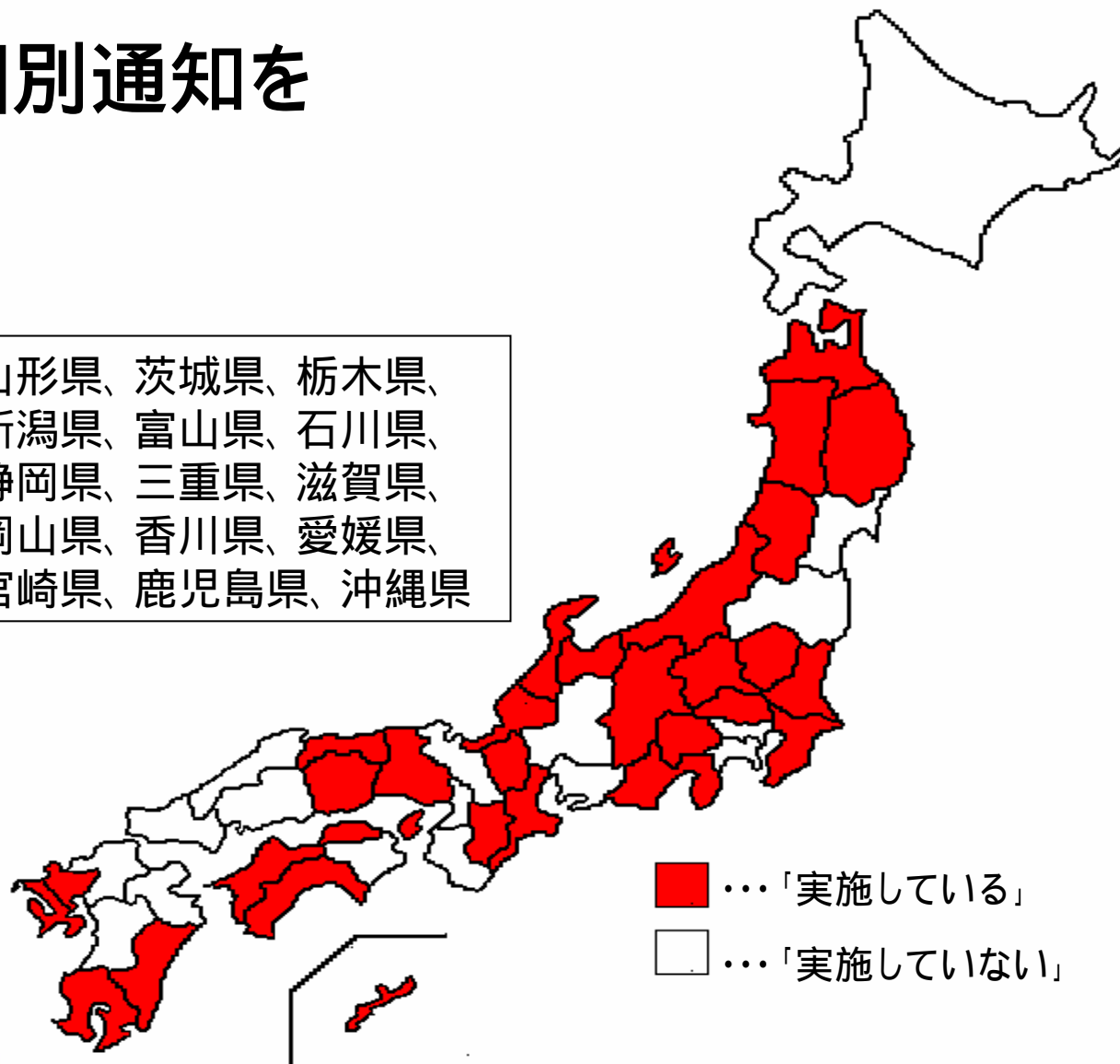
秋田県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、神奈川県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、鳥取県、岡山県、徳島県、香川県、高知県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県



全市区町村での個別通知の実施

全市区町村で個別通知を
実施している
: 30/47 (63.8%)

青森県、岩手県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、
群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、石川県、
福井県、山梨県、長野県、静岡県、三重県、滋賀県、
兵庫県、奈良県、鳥取県、岡山県、香川県、愛媛県、
高知県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県



住民の意識向上を図るための計画

計画がある

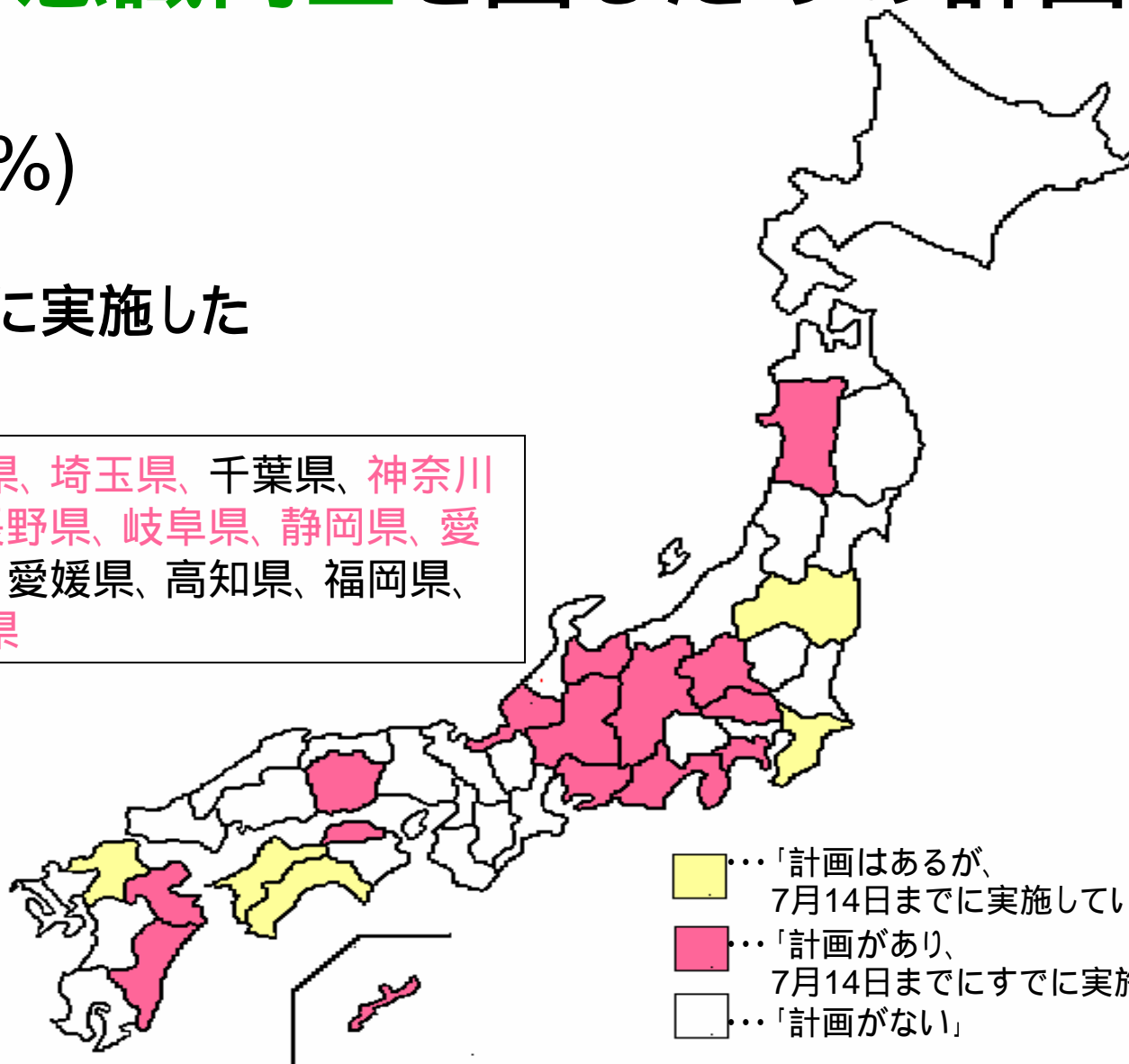
: 20/47 (42.6%)

計画があり、

7月14日までに既に実施した

: 15/20 (75.0%)

秋田県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、富山県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、岡山県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、宮崎県、沖縄県



麻疹積極的疫学調査(概要)

医療機関からの麻疹患者発生の届出もしくは学校・会社施設等より麻疹患者発生の通報あり

患者数が
多くなって
からの
対策は
非常に
大変です！

集団発生(アウトブレイク)調査

- ①麻疹が集団で発生しているか否かの確認
- ②原因疾患が麻疹であることを確認

↓
症例定義を作成して調査を実施
記述疫学(時・場所・人)
インパクトの評価
ワクチン有効性の評価

集団発生調査のみの場合

対策の実施

- ①接触者の麻疹感受性の判定と対策
- ②接触者と特定されなかった者への感受性者対策
- ③集団発生後の経過観察

症例調査・接触者調査に移行する場合

1名でたら
すぐ対応！

症例調査

- ①症例基本・臨床情報調査
- ②症例行動調査
- ③感染源調査

接触者調査

- ①分類に従って接触者をリストアップ
- ②接触者の麻疹感受性者判定
- ③感受性のある接触者の発病予防
- ④感受性のある接触者の健康観察
- ⑤有症状時の外出自粛と医療機関受診時の指導
- ⑥その他の感受性者対策

今年から大きく変わった 麻疹と風疹の予防接種スケジュール



第1期
1歳

第2期
小学校
入学前
1年間



第3期
中学1年生
相当年齢

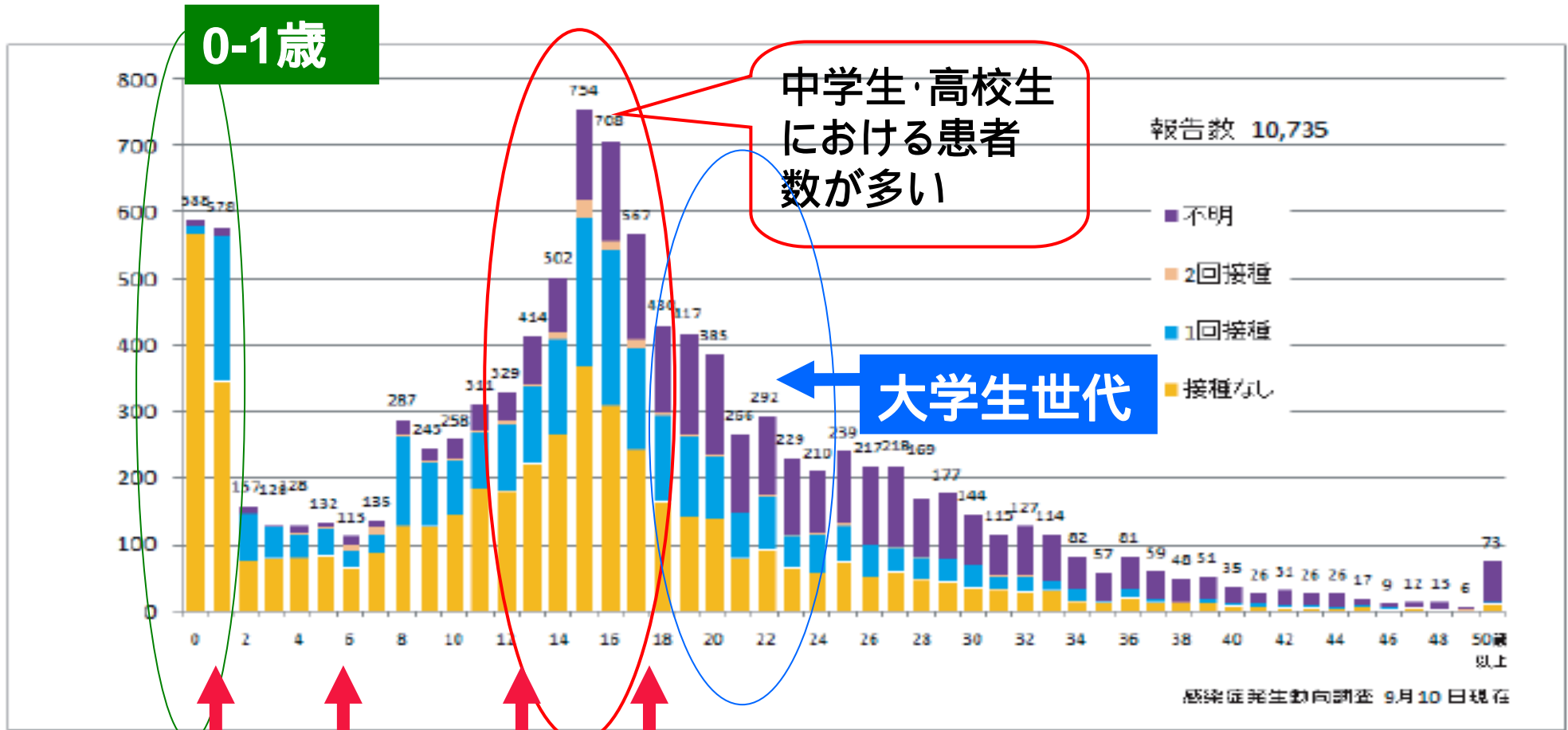
第4期
高校3年生
相当年齢



年齢別接種歴別麻疹累積報告数 (n=10,735)

半数が予防接種を受けていない！！

5. 年齢群別接種歴別麻疹累積報告数 (n=10,735) 2008年第1週-36週



95%以上の予防接種率の達成・維持のための取り組み

任意接種としての接種の推奨

医療従事者

学校の職員

福祉施設等の職員

その他の学生

- 1) 教育・医療・福祉に関連する大学の学部・専修学校の
実習の機会
- 2) 海外への修学旅行等、学校として海外渡航を行う機会

医療機関受診者

患者の初診の機会を通じ、予防接種の推奨を行うよう、日本医師会、日本小児科学会、日本小児科医会、日本内科学会、日本小児保健協会等の学会に対し、依頼

麻疹による脳炎の患者報告数

2004年～2007年

年	診断週	推定感染地	性	年齢	
2004	16	新潟県	女	28歳	死亡
2006	25	千葉県	男	12歳	
2007 (9例)	13	埼玉県	女	13歳	
	16	東京都	男	28歳	
	20	埼玉県	女	26歳	
	21	大阪府	男	26歳	
	23	神奈川県	男	21歳	
	25	新潟県	男	16歳	
	31	東京都	男	18歳	
	32	新潟県	男	16歳	
	37	大阪府	男	27歳	

致死率は約15%で、治っても20～40%に中枢神経系の後遺症(精神発達遅滞、痙攣、行動異常、神経聾、片麻痺、対麻痺)を残し、非常に重篤な病気です。

表. 脳炎合併の報告があった麻疹症例(2008年第1~27週)

診断週	感染地域	報告都道府県	性別	年齢	接種歴
第4週	北海道	北海道	女	10代	無
第4週	神奈川県	神奈川県	男	20代	無
第5週	神奈川県	神奈川県	男	30代	無
第9週	北海道	北海道	女	20代	無
第16週	千葉県	東京都	女	40代	不明

この後、3名報告有り、2008年は9月10日現在、計8名

去年は、計9名、この約1年間で17名の麻疹脳炎の患者発生

麻疹に中枢神経症状を合併した成人症例

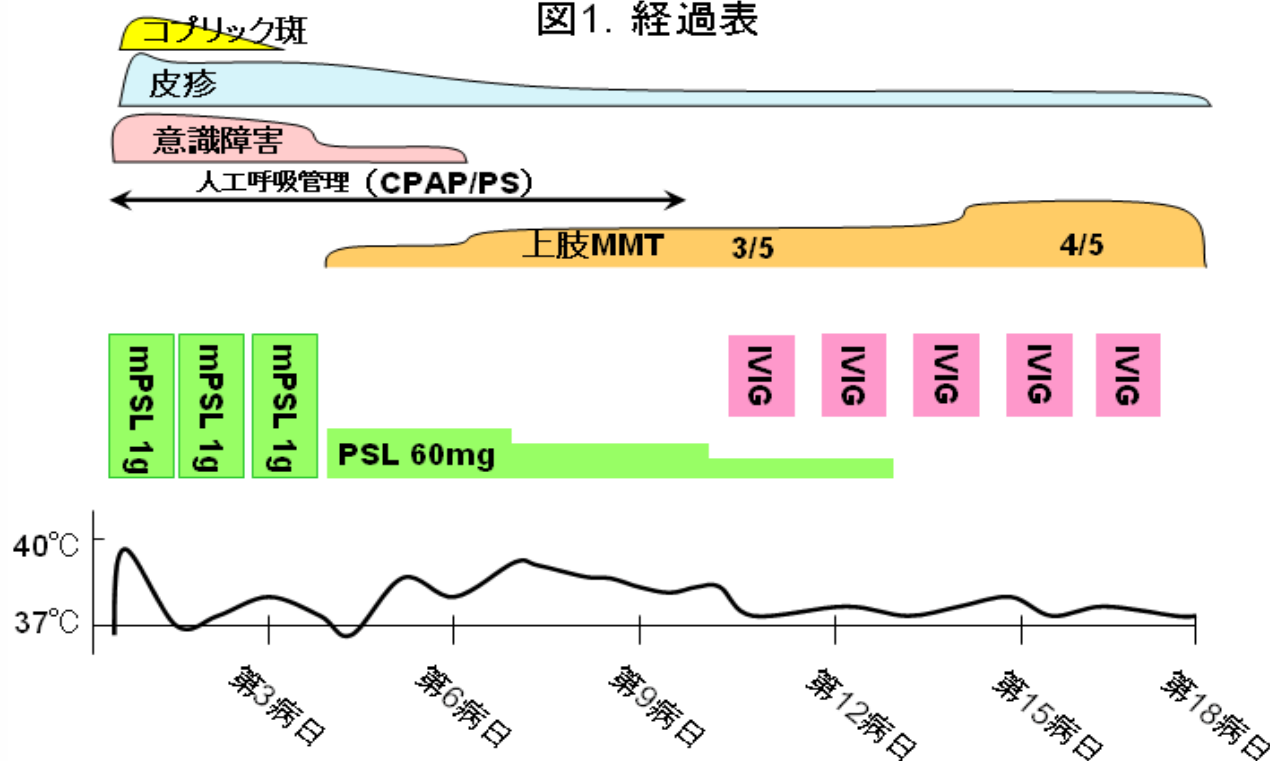
(IASRVol.28 p 297-297:2007年10月号より抜粋)

- **生来健康な28歳男性。**
- **子どもの頃に麻疹ワクチン接種歴あり(母親から聴取)。**
- **11日前より咽頭痛、発熱。**
- **溶連菌感染を疑われ抗菌薬治療を受ける。**
- **9日前より顔を中心に発疹**
- **5日前より40 台の発熱と全身の発疹、別の病院に入院**
- **その後、意識状態は次第に悪化**
- **1日前より人工呼吸管理となり、救命救急センターへ**
- **髄液検査では細胞数の増加 605/3(単核球 583/3、多核球 22/3)蛋白の増加 153mg/dl、糖 54mg/dl**

麻疹に中枢神経症状を合併した成人症例

(IASR Vol.28 p 297-297:2007年10月号より抜粋)

図1. 経過表



mPSL: メチルプレドニゾロン、PSL: プレドニゾロン、IVIg: 静注用免疫グロブリン、MMT: 徒手筋力テスト

その後次第に神経症状は改善し、筋力は下肢に一部障害を認めるものの上肢はかなり回復、感覚鈍麻も第6胸椎以下に軽度認めるのみとなったため、発症から65日目、リハビリテーション目的にて転院となった(自力で何とかベッドから車椅子へ移乗できる状態であった)。

**妊娠中に麻疹にかかると
流産・早産になることがあります**



新生児麻疹の患者さんの報告もあります

妊娠前にはワクチンを接種して、免疫を獲得しておいて欲しい。

妊娠中は麻疹、風疹共にワクチン接種を受けることができません。

日本からの麻疹輸出例 2007年

2005, 2006年

アメリカ合衆国への輸出0人

2007年

アメリカ合衆国

カナダ

オーストラリア

スイス

台湾

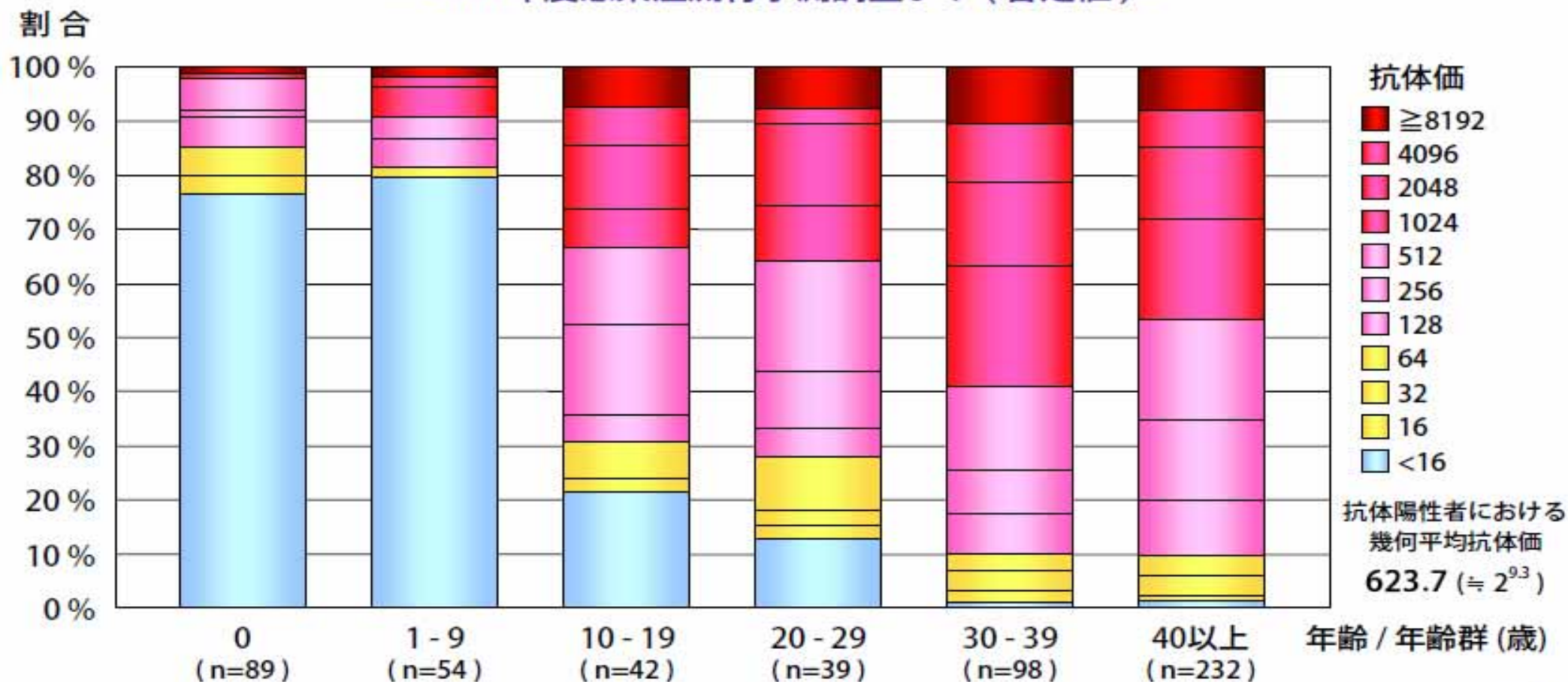
一般旅行(若者)、修学旅行(高校生)、
リトルリーグ(小学生)

海外への教育旅行の実態

- 日本修学旅行組合が発行している教育旅行白書2008年版によると、以下のように年々増加しています。
 - 平成16年度に実施された教育旅行は、
 - 2,733件、188,071人
 - このうち修学旅行は1,066件149,086人
 - 平成17年度に実施された教育旅行は、
 - 2,878件、195,379人
 - このうち修学旅行は1,132件155,023人
 - 平成18年度に実施された教育旅行は、
 - 2,943件、199,178人
 - このうち修学旅行は1,191件156,579人

麻疹ワクチン/MRワクチン/MMRワクチン 未接種者における麻疹に対する免疫保有状況

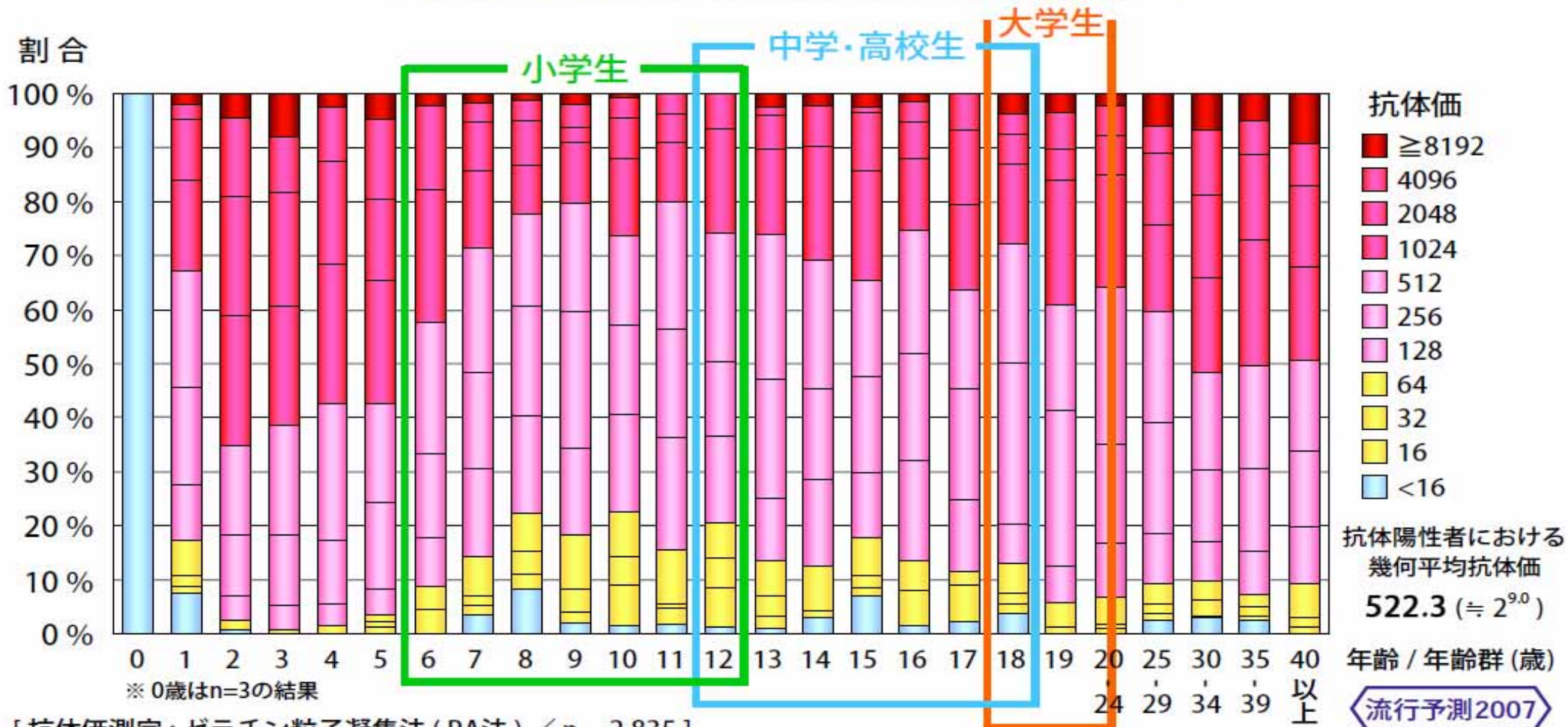
— 2007年度感染症流行予測調査より(暫定値) —



[抗体価測定:ゼラチン粒子凝集法(PA法) / n = 554]

麻疹ワクチン / MRワクチン / MMRワクチン 1回接種者における麻疹に対する免疫保有状況

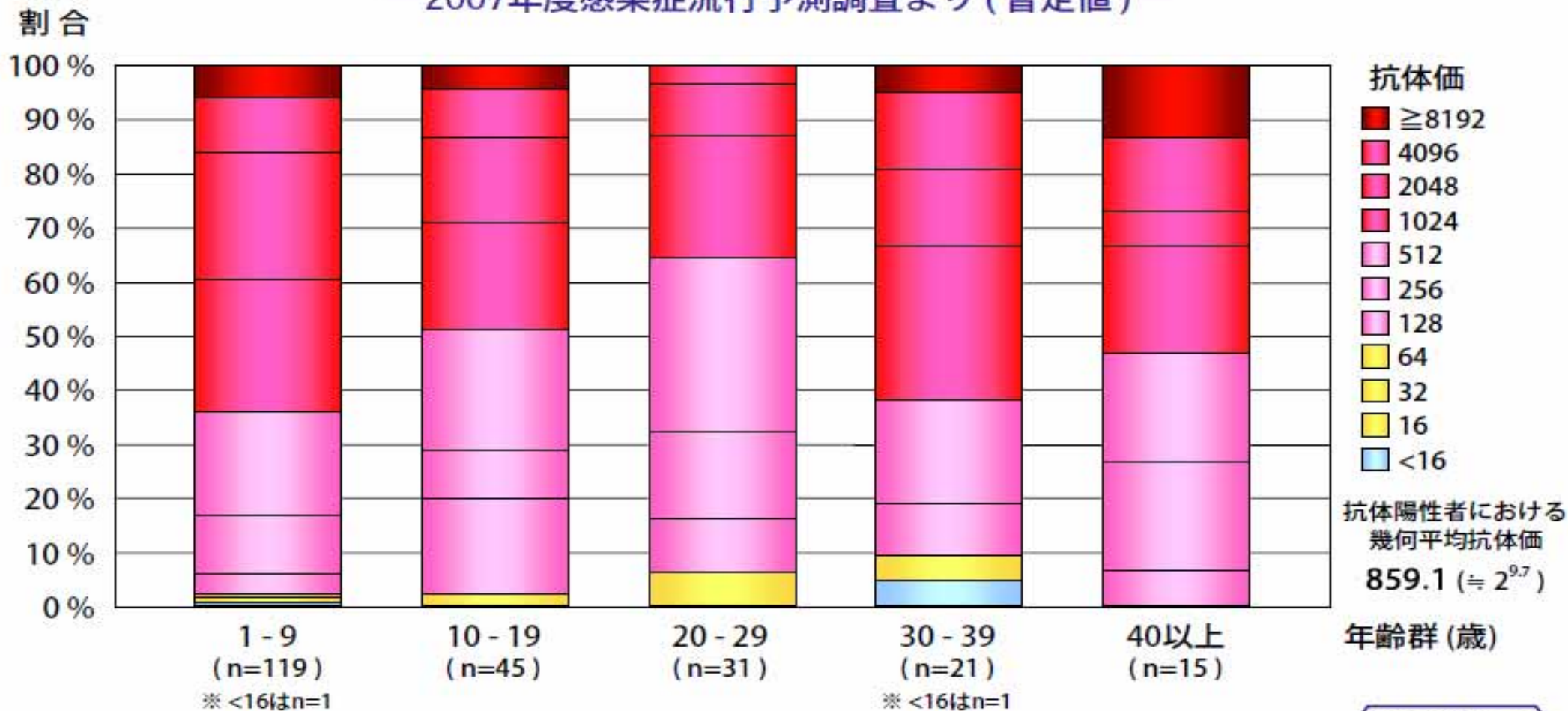
— 2007年度感染症流行予測調査より (暫定値) —



[抗体価測定 : ゼラチン粒子凝集法 (PA法) / n = 2,835]

麻疹ワクチン / MRワクチン / MMRワクチン 2回接種者における麻疹に対する免疫保有状況

— 2007年度感染症流行予測調査より (暫定値) —



[抗体価測定:ゼラチン粒子凝集法(PA法) / n = 231]

2008年度

第3期麻しん風しんワクチン接種率

4月1日~6月30日接種状況評価結果

第3期 麻しんワクチン接種率: **38.8%**

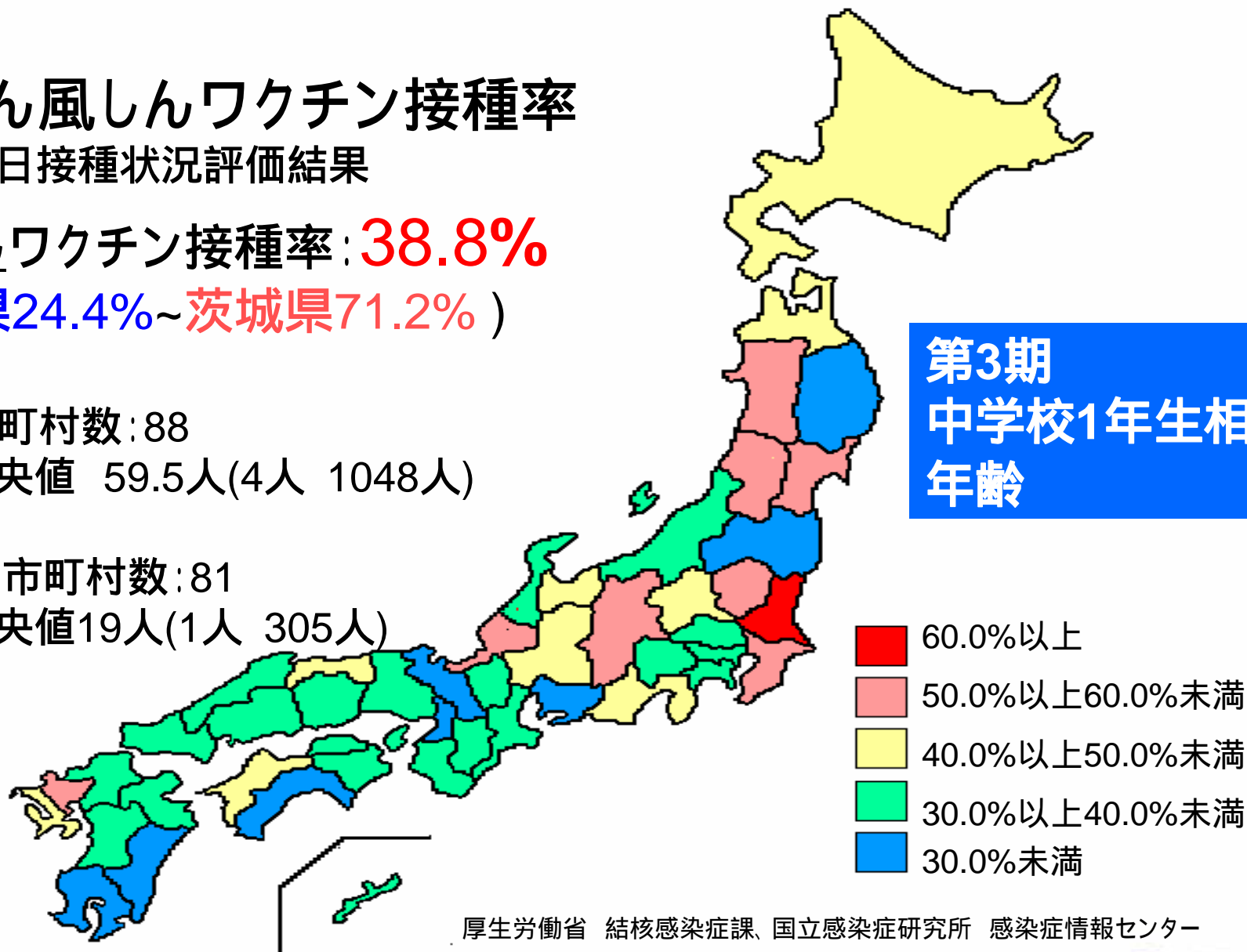
(**鹿児島県**24.4%~**茨城県**71.2%)

接種率0%の市町村数: 88

…対象者数中央値 59.5人(4人 1048人)

接種率100%の市町村数: 81

…対象者数中央値19人(1人 305人)



厚生労働省 結核感染症課、国立感染症研究所 感染症情報センター

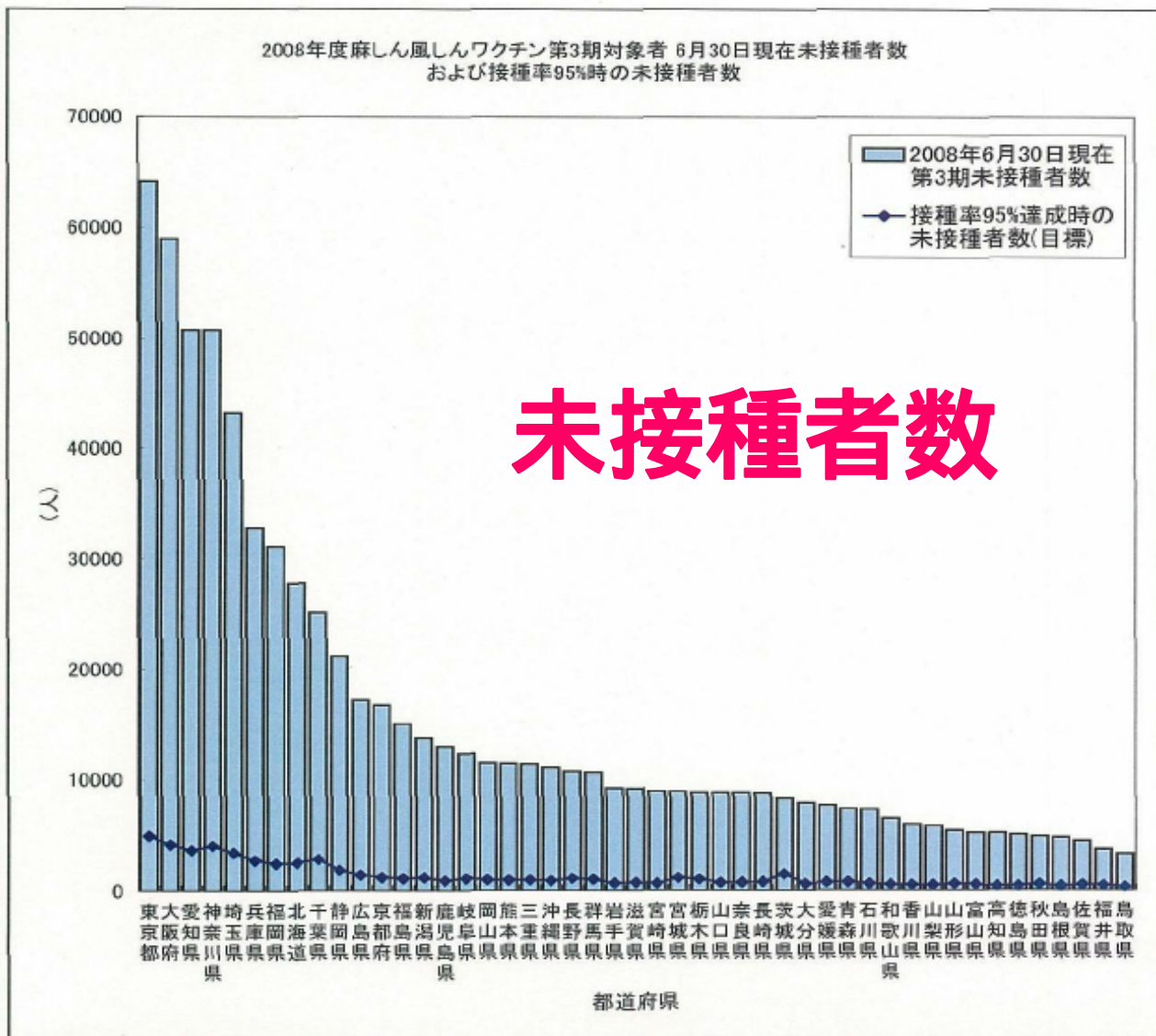
2008年度第3期麻疹風疹ワクチン接種率 4月1日~6月30日接種状況評価結果

順位	都道府県	第3期麻疹風疹 ワクチン接種 対象者数(人):①	第3期MRワクチン 使用者数(人):②	第3期麻疹単抗 原 ワクチン使用者数 (人):③	第3期麻疹 ワクチン接種率(%) :④=(②+③)/①× 100
1	茨城県	28750	20456	17	71.2
2	宮城県	21991	13126	3	59.7
3	福井県	8294	4674	5	56.4
4	千葉県	55507	30330	16	54.7
5	栃木県	19283	10515	0	54.5
6	山形県	11447	6089	0	53.2
7	秋田県	10140	5309	1	52.4
8	佐賀県	9190	4785	3	52.1
9	長野県	21560	10817	3	50.2
10	富山県	10161	5000	0	49.2
11	青森県	14107	6821	1	48.4
12	群馬県	19950	9331	9	46.8
13	愛媛県	13691	6078	2	44.4
14	北海道	49158	21336	17	43.4
15	鳥取県	5654	2397	0	42.4
16	岐阜県	21146	8806	10	41.7
17	静岡県	35925	14720	5	41.0
18	長崎県	14692	5963	5	40.6
19	新潟県	22694	8939	6	39.4
20	兵庫県	53660	20864	22	38.9
21	岡山県	18688	7238	16	38.8
22	三重県	18369	6993	0	38.1
23	熊本県	18244	6806	38	37.5
24	広島県	27314	10088	11	37.0
25	神奈川県	79,897	29,136	46	36.5
26	山梨県	9069	3300	1	36.4
27	香川県	9231	3355	0	36.3
28	奈良県	13639	4905	1	36.0
29	石川県	11212	3973	0	35.4
30	沖縄県	17121	6062	2	35.4
31	埼玉県	66940	23696	10	35.4
32	和歌山県	9974	3520	0	35.3
33	滋賀県	14067	4907	16	35.0
34	山口県	13464	4707	4	35.0
35	福岡県	47790	16668	8	34.9
36	東京都	97831	33736	23	34.5
37	徳島県	7434	2464	0	33.1
38	島根県	6921	2209	2	31.9
39	大分県	11259	3381	16	30.2
40	岩手県	13074	3898	2	29.8
41	愛知県	71614	20855	5	29.1
42	福島県	21160	6116	0	28.9
43	高知県	7125	2031	1	28.5
44	大阪府	82069	23027	90	28.2
45	京都府	22847	6070	12	26.6
46	宮崎県	11902	3001	2	25.2
47	鹿児島県	17120	4175	1	24.4
	全国	1192375	462673	432	38.8

表VI. 2008年度麻しん風しんワクチン第3期接種対象者6月30日現在未接種者数と接種率95%達成時の未接種者数

2008年8月27日回収時点、回収率100%

順位	都道府県	2008年6月30日現在 第3期末接種者数	接種率95%達成時の 未接種者数(目標)
1	東京都	64072	4892
2	大阪府	58952	4103
3	愛知県	50754	3581
4	神奈川県	50715	3995
5	埼玉県	43234	3347
6	兵庫県	32774	2683
7	福岡県	31114	2390
8	北海道	27805	2458
9	千葉県	25161	2775
10	静岡県	21200	1796
11	広島県	17215	1366
12	京都府	16765	1142
13	福島県	15044	1058
14	新潟県	13749	1135
15	鹿児島県	12944	856
16	岐阜県	12330	1057
17	岡山県	11434	934
18	熊本県	11400	912
19	三重県	11376	918
20	沖縄県	11057	856
21	長野県	10740	1078
22	群馬県	10610	998
23	岩手県	9174	654
24	滋賀県	9144	703
25	宮崎県	8899	595
26	宮城県	8862	1100
27	栃木県	8768	964
28	山口県	8753	673
29	奈良県	8733	682
30	長崎県	8724	735
31	茨城県	8277	1438
32	大分県	7862	563
33	愛媛県	7611	685
34	青森県	7285	705
35	石川県	7239	561
36	和歌山県	6454	499
37	香川県	5876	462
38	山梨県	5768	453
39	山形県	5358	572
40	富山県	5161	508
41	高知県	5093	356
42	徳島県	4970	372
43	秋田県	4830	507
44	鳥根県	4710	346
45	佐賀県	4402	460
46	福井県	3615	415
47	鳥取県	3257	283



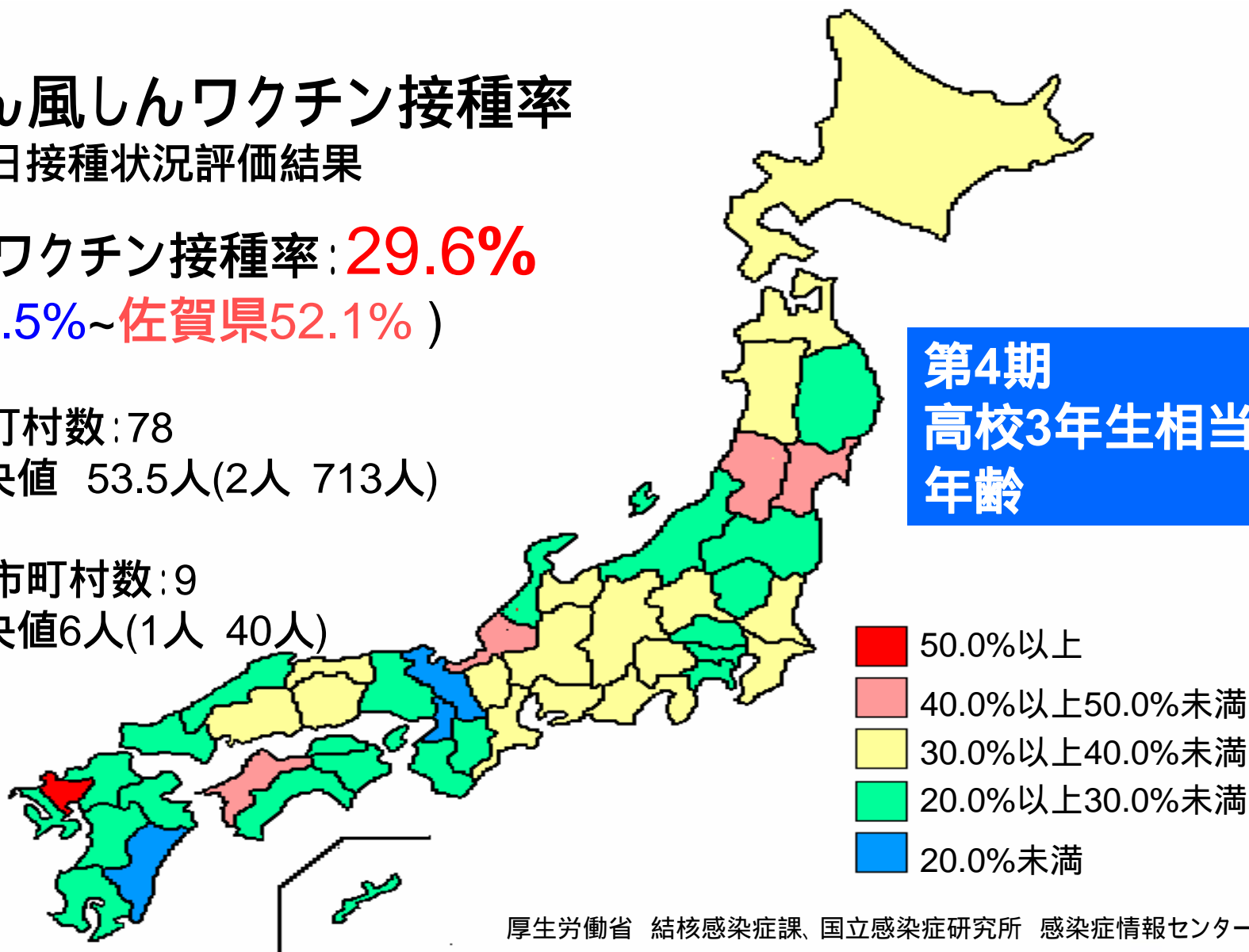
2008年度 第4期麻しん風しんワクチン接種率

4月1日~6月30日接種状況評価結果

第4期 麻しんワクチン接種率: **29.6%**
(大阪府17.5%~佐賀県52.1%)

接種率0%の市町村数: 78
...対象者数中央値 53.5人(2人 713人)

接種率100%の市町村数: 9
...対象者数中央値6人(1人 40人)



厚生労働省 結核感染症課、国立感染症研究所 感染症情報センター

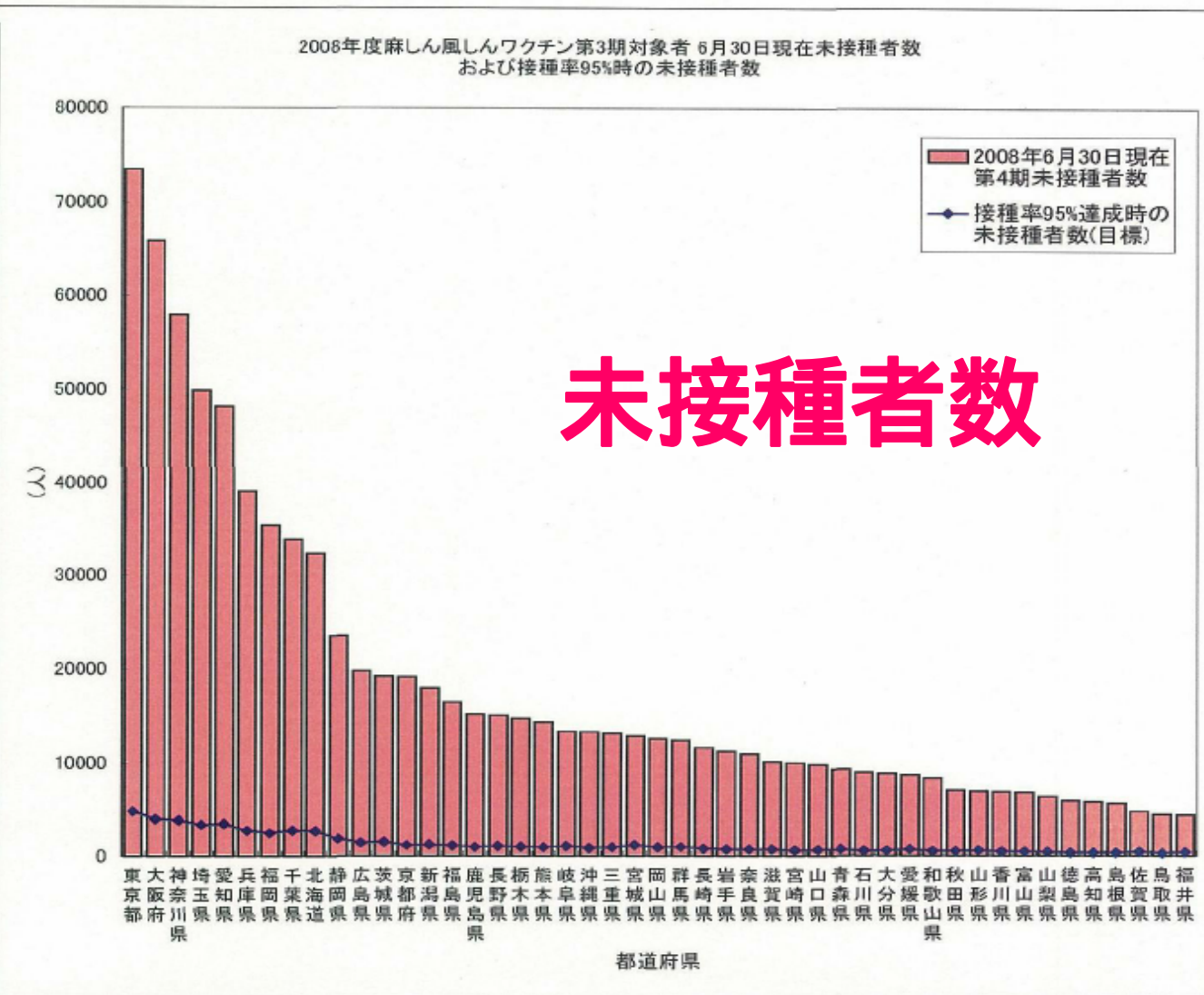
2008年度第4期麻しん風しんワクチン接種率 4月1日~6月30日接種状況評価結果

順位	都道府県	第4期麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	第4期MRワクチン 使用者数(人):②	第4期麻しん単抗 原 ワクチン使用者数 (人):③	第4期麻しん ワクチン接種率 (%) :④=(②+③)/①
1	佐賀県	9993	5190	14	52.1
2	福井県	8704	4266	1	49.0
3	宮城県	23828	10963	3	46.0
4	山形県	12649	5667	4	44.8
5	愛媛県	14831	6048	39	41.0
6	北海道	53864	21381	69	39.8
7	千葉県	55308	21310	43	38.6
8	岐阜県	21708	8328	7	38.4
9	静岡県	37563	13984	37	37.3
10	群馬県	19866	7360	26	37.2
11	青森県	14810	5454	2	36.8
12	茨城県	30301	11045	11	36.5
13	秋田県	11109	4000	4	36.0
14	岡山県	19307	6645	52	34.7
15	富山県	10265	3380	4	33.0
16	鳥取県	6618	2153	3	32.6
17	山梨県	9420	2994	7	31.9
18	滋賀県	14859	4670	31	31.6
19	三重県	19171	6016	6	31.4
20	長野県	22010	6843	27	31.2
21	広島県	28711	8923	28	31.2
22	愛知県	69479	21271	32	30.7
23	山口県	13977	4124	8	29.6
24	香川県	9826	2858	3	29.1
25	兵庫県	54970	15764	83	28.8
26	長崎県	16320	4664	8	28.6
27	福岡県	49489	14021	22	28.4
28	栃木県	20390	5630	7	27.6
29	福島県	22660	6153	8	27.2
30	新潟県	24588	6601	12	26.9
31	島根県	7731	2055	1	26.6
32	熊本県	19403	5050	7	26.1
33	奈良県	14823	3827	10	25.9
34	埼玉県	67270	17360	32	25.9
35	大分県	11952	3011	41	25.5
36	神奈川県	77,216	19,077	214	25.0
37	徳島県	7895	1939	1	24.6
38	岩手県	14794	3534	3	23.9
39	東京都	96275	22662	82	23.6
40	沖縄県	17289	3946	6	22.9
41	高知県	7537	1701	2	22.6
42	鹿児島県	19644	4416	1	22.5
43	石川県	11604	2588	5	22.3
44	和歌山県	10827	2414	2	22.3
45	宮崎県	12534	2493	6	19.9
46	京都府	23356	4150	25	17.9
47	大阪府	79889	13852	135	17.5
	全国	1226633	361781	1174	29.6

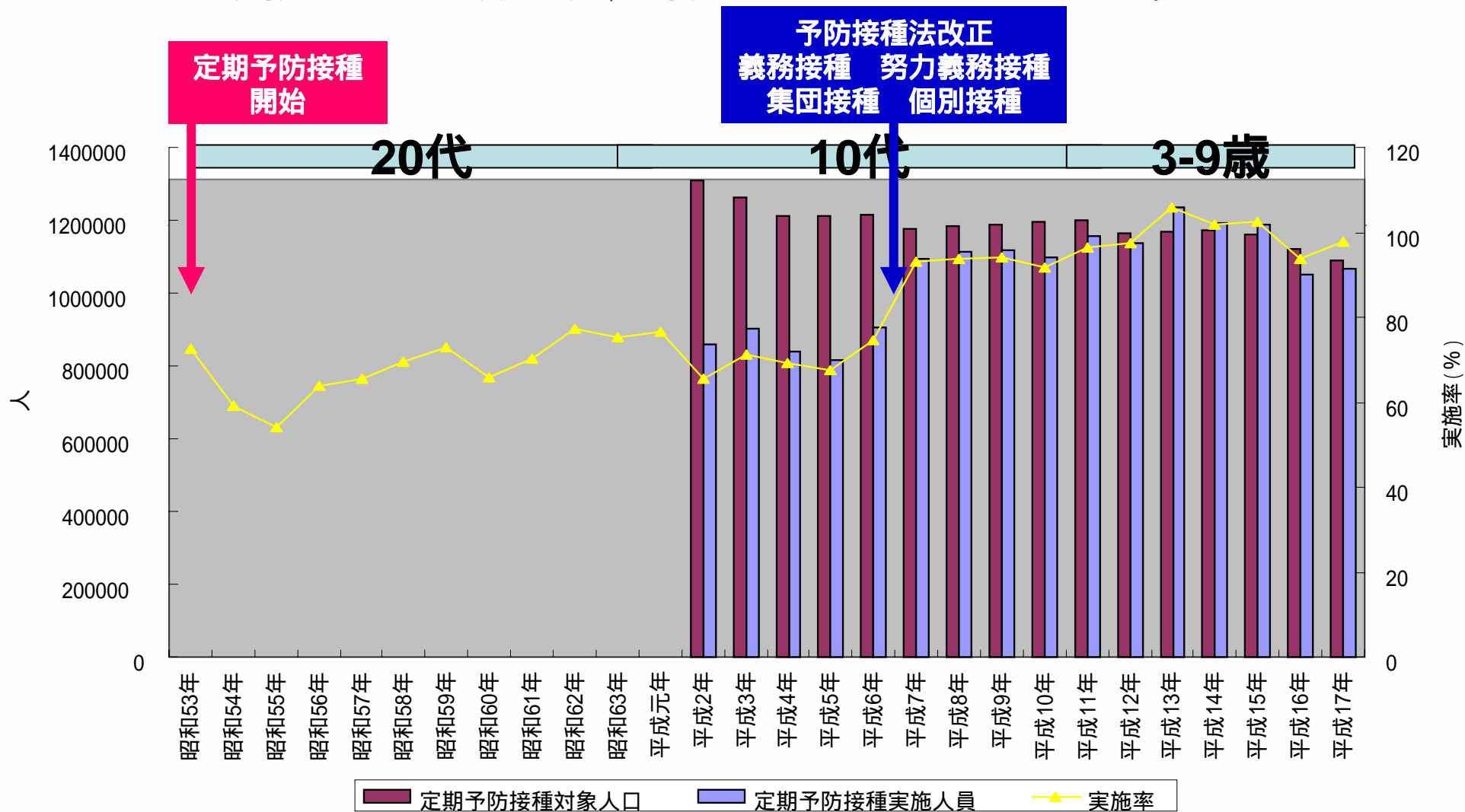
表Ⅶ 2008年度麻疹風しんワクチン第4期接種対象者6月30日現在未接種者数と接種率95%達成時の未接種者数

2008年8月27日回収時点、回収率100%

順位	都道府県	2008年6月30日現在 第4期末接種者数	接種率95%達成時の 未接種者数(目標)
1	東京都	73531	4814
2	大阪府	65902	3994
3	神奈川県	57925	3861
4	埼玉県	49878	3364
5	愛知県	48176	3474
6	兵庫県	39123	2749
7	福岡県	35446	2474
8	千葉県	33955	2765
9	北海道	32414	2693
10	静岡県	23542	1878
11	広島県	19760	1436
12	茨城県	19245	1515
13	京都府	19181	1168
14	新潟県	17975	1229
15	福島県	16499	1133
16	鹿児島県	15227	982
17	長野県	15140	1101
18	栃木県	14753	1020
19	熊本県	14346	970
20	岐阜県	13373	1085
21	沖縄県	13337	864
22	三重県	13149	959
23	宮城県	12862	1191
24	岡山県	12610	965
25	群馬県	12480	993
26	長崎県	11648	816
27	岩手県	11257	740
28	奈良県	10886	741
29	滋賀県	10158	743
30	宮崎県	10035	627
31	山口県	9845	699
32	青森県	9354	741
33	石川県	9011	580
34	大分県	8900	598
35	愛媛県	8744	742
36	和歌山県	8411	541
37	秋田県	7105	555
38	山形県	6978	632
39	香川県	6965	491
40	富山県	6881	513
41	山梨県	6419	471
42	徳島県	5955	395
43	高知県	5834	377
44	島根県	5675	387
45	佐賀県	4789	500
46	鳥取県	4462	331
47	福井県	4437	435

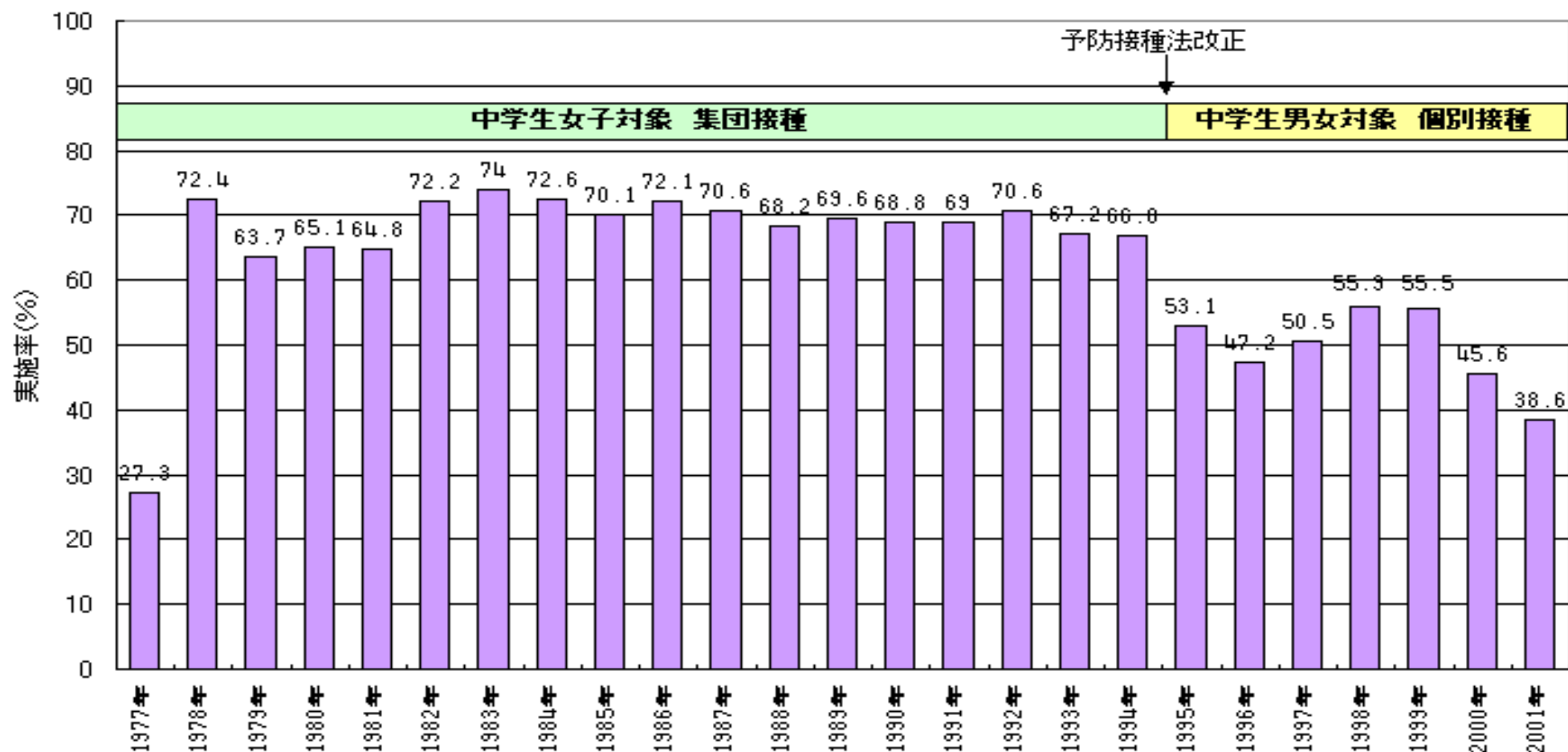


平成6年の予防接種法改正後、麻疹ワクチン実施率はどう変わったか？



実施人員は、平成8年までは保健所運営報告、平成9年以降は地域保健事業報告の「定期の予防接種被接種者数」による。
 対象人口は、標準的な接種年齢期間の総人口を総務庁統計局推計人口(各年10月1日現在)から求め、これを12ヶ月相当人口に推計
 対象人口は各年度に新規に予防接種対象者に該当した人口であることに対し、実施人口は各年度における接種対象者全体の中の予防接種を受けた人員である

中学生に対する風疹ワクチン実施率(1977~2001年)(厚生労働省)



健感発第0908001号
平成20年9月8日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

麻しん風しんの第3期・第4期の予防接種の促進について（依頼）

標記の予防接種については、平成20年6月27日付け健感発第0627001号厚生労働省健康局結核感染症課長名をもって既に依頼しているところであり、その後、各都道府県衛生主管部局におかれては、貴管内市区町村に対し、積極的に接種の勧奨を行うよう指導していただいていることと存じます。

さて、本年9月3日に開催された、国の麻しん対策推進会議において、別添の「平成20年度定期の予防接種（第3期・第4期麻しん風しん 4～6月分）の実施状況の調査結果」等が報告されました。それによると、全国平均の接種率は、第3期が38.8%、第4期が29.6%であり、このまま推移すれば、麻しん排除の目標であるところの接種対象者の接種率95%の達成が、危惧される状況であります。

ついては、このような状況を改善するための対策を早急に講じる必要があることから、「麻しん対策会議」等を開催し、学校機関に対して本年9月末時点での接種状況の確認、未接種未罹患の者に対して積極的な勧奨を行うよう協力の要請、また、市区町村に対して、再度の個別通知の徹底及び電話による積極的勧奨等の実施について、ご指導方よろしくお願い申し上げます。

なお、保護者に対しては、予防接種に関する十分な普及啓発を行うなど、子どもたちが予防接種を受けやすい環境を整備し、麻しん風しんの第3期・第4期の接種対象者のうち、未接種未罹患の者については、早期のうちに接種が実施されるよう、さらなる接種の促進につき、ご協力方お願い申し上げます。

(参考資料)

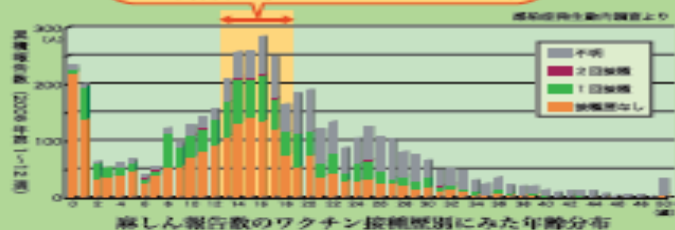
1. 平成19年度第3期・第4期麻しん風しんの接種率

はしかにならない。 はしかにさせない。

中学1年生と高校3年生に相当する年齢の人は予防接種を受けましょう。



中学生・高校生における
患者数が多くなっています。

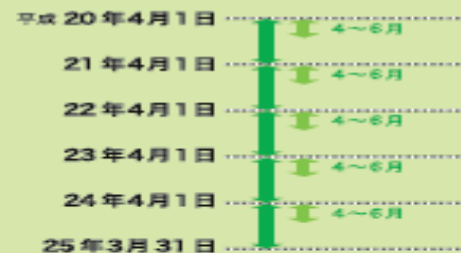


はしか（麻しん）は感染力が大変強い感染症です。
自分が感染しないためだけでなく、
家族や学校など身近な周囲へ感染を広げないためにも
予防接種は有効です。
予防接種を受けたことがない人ももちろん、
1回受けたことがある人も2回目の予防接種を受けましょう。

 IDSC 感染症情報センター
TEL 03-5287-3111 http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

実施期間

平成20年度～24年度の5年間



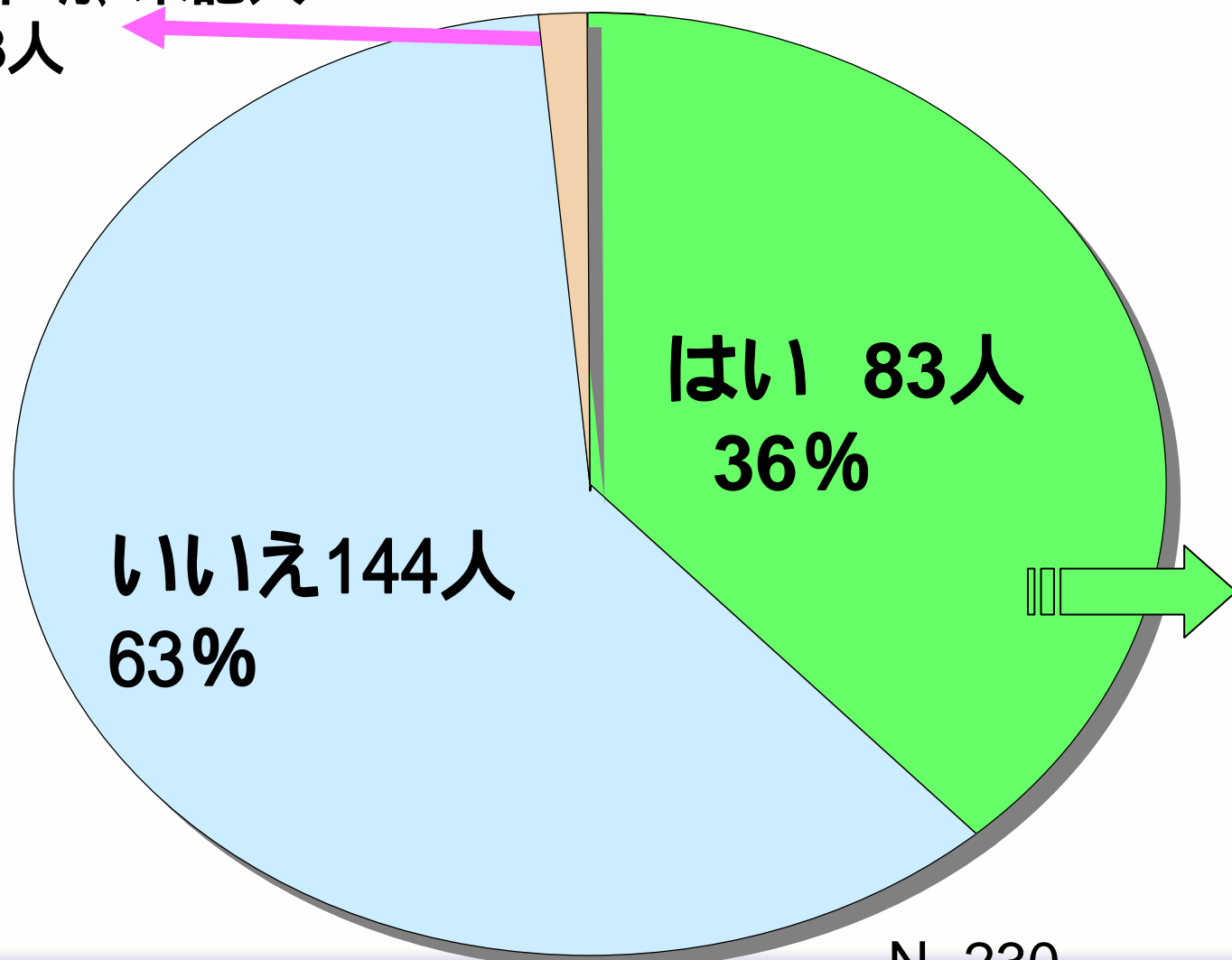
← 接種時期
中学1年生に相当する（年度中に15歳になる）年齢および高校3年生に相当する（年度中に18歳になる）年齢
← 特に推奨する接種期間



次の接種率調査は9月末時点となります。

はしかはどんな病気か知っていますか？

不明、未記入
3人



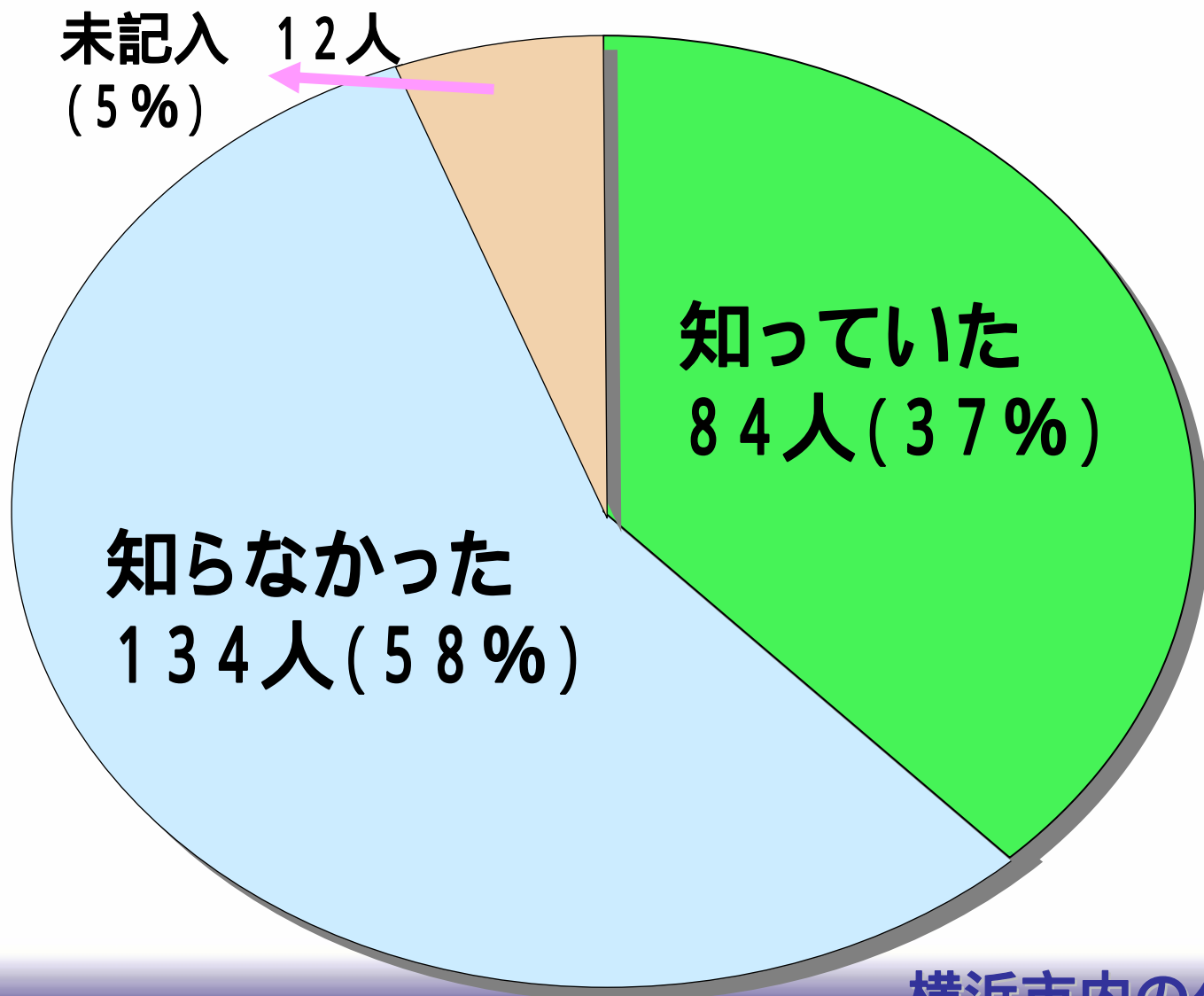
どんな病気ですか？1人複数回答

熱が出る・高熱が出る	50人
発疹(赤いぶつぶつ)が出る	30人
伝染病・感染する・感染力が強い	13人
かゆい	5人
命にかかわる	5人
大変・やばい・怖い	4人
風邪症状	2人
潜伏期がある	2人
治療法がない	1人
若い人がかかりやすい	1人
つらい	1人
妊娠していると危ない	1人
隔離	1人
ウイルス感染症	1人
空気感染	1人

横浜市内の公立高等学校

N=230

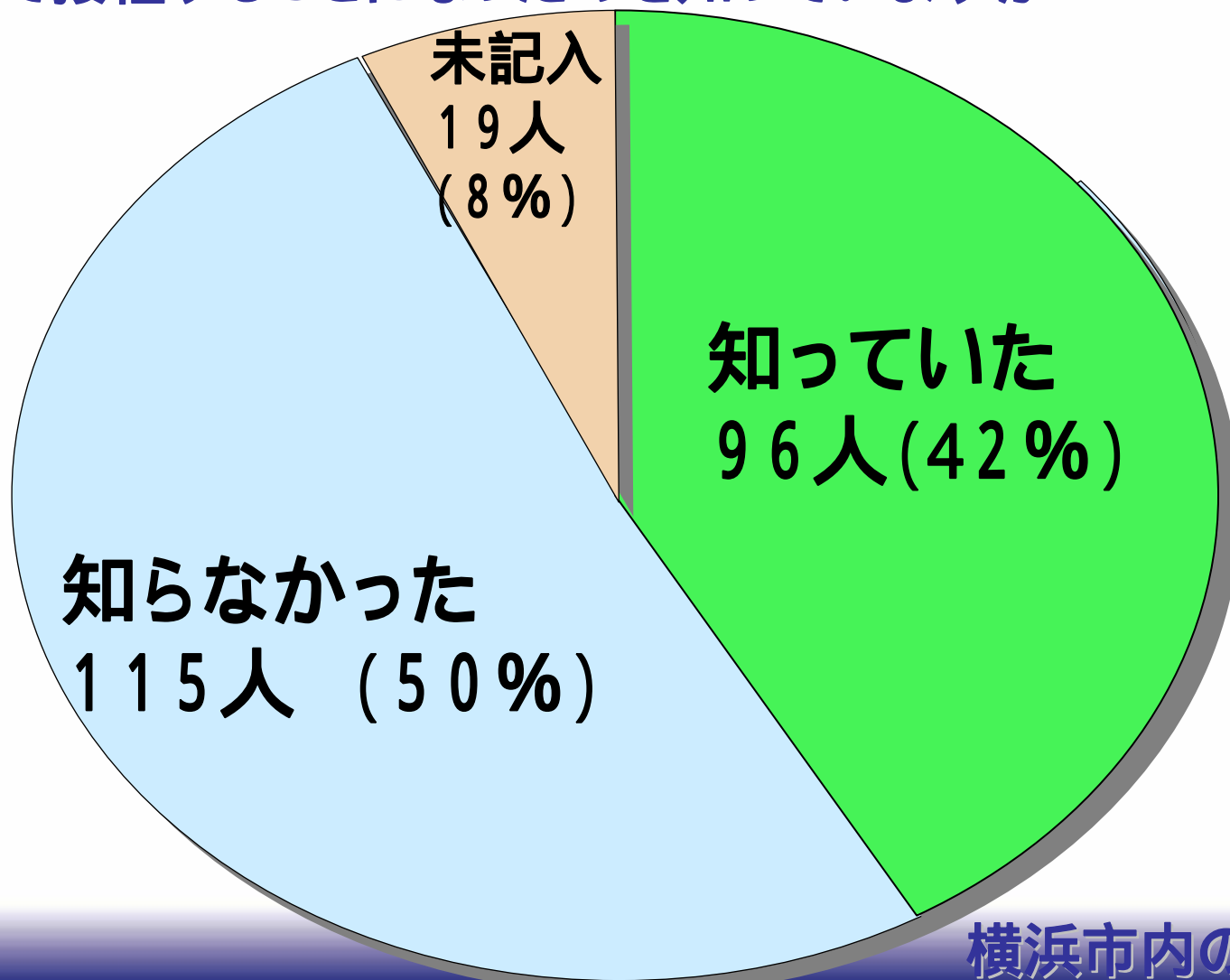
麻しんはかかると治すための特別な治療法はなく、ワクチンを受けて予防しておくことが最も大切な病気であることを知っていましたか？



N=230

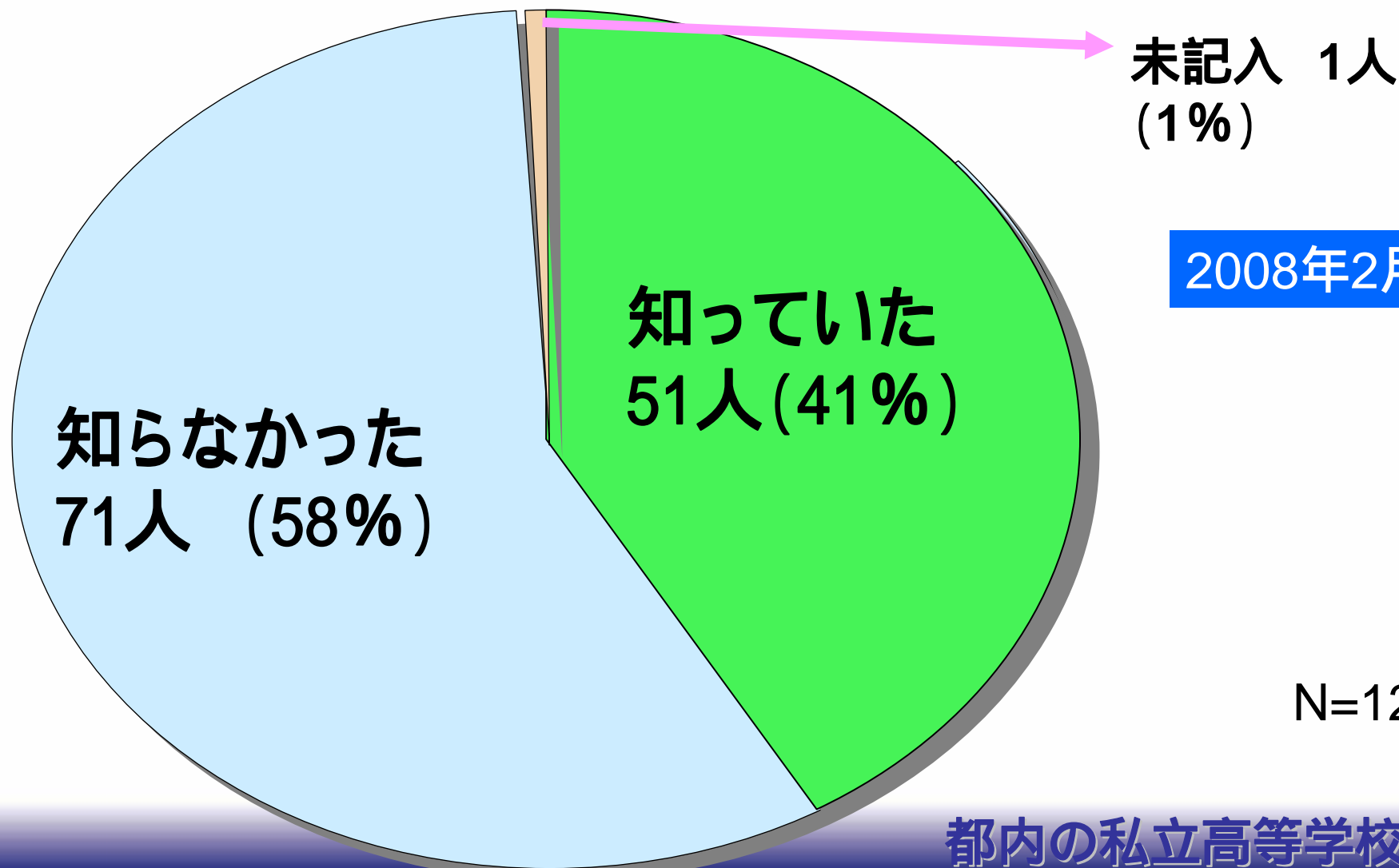
2008年4月から5年間、日本でも、これまで1回しかワクチンを受けていない人については、中1と高3のいずれかの年に麻しん風しん混合ワクチンを公費負担で接種することになったのを知っていますか？

2008年7月の調査



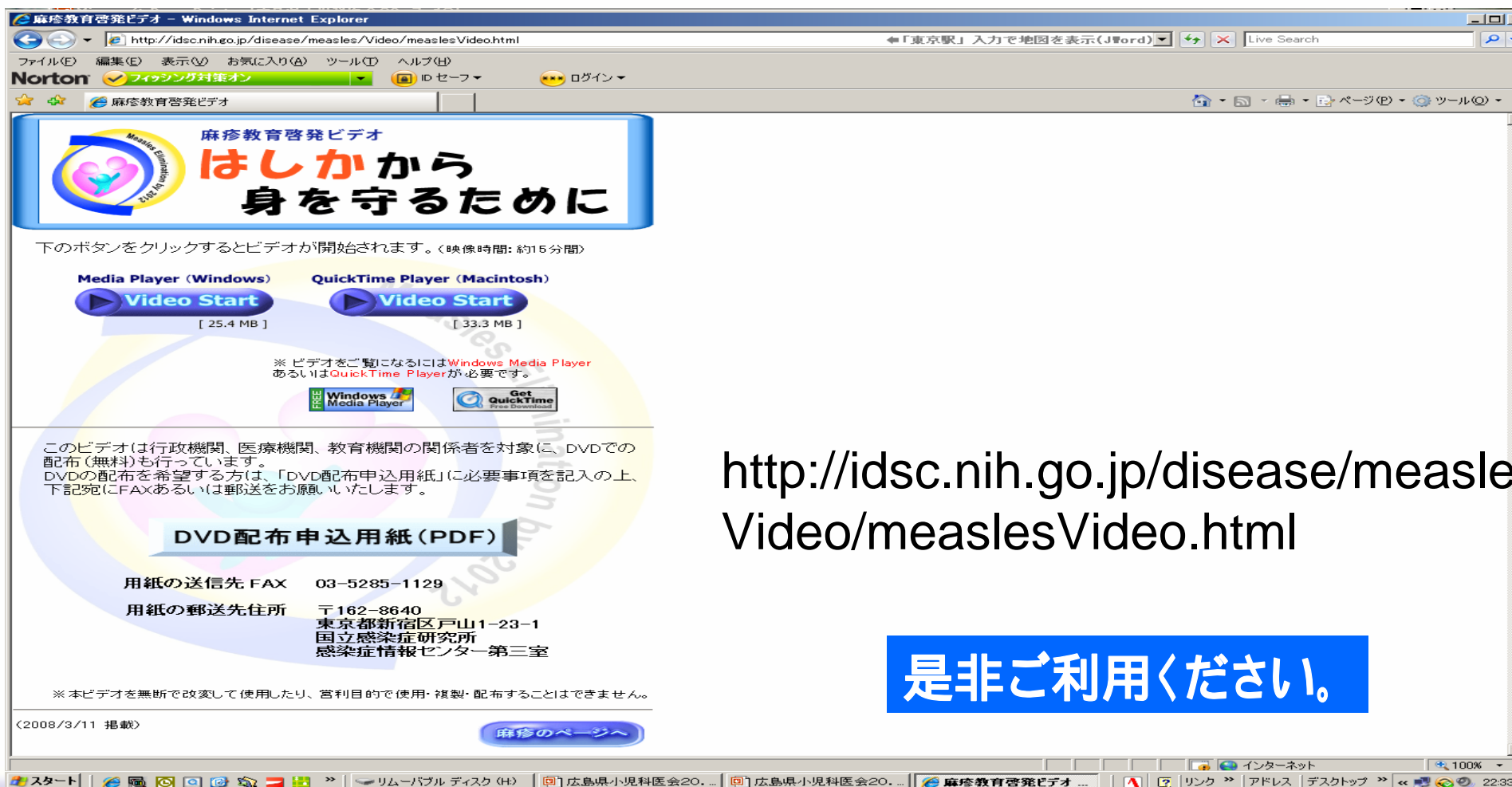
N=230

2008年4月から5年間、日本でも、これまで1回しかワクチンを受けていない人については、中1と高3のいずれかの年に麻しん風しん混合ワクチンを公費負担で接種することになったのを知っていますか？



03 - 5285 - 1129までFAXいただければお送りすることが可能です。

全校生徒、職員、保護者会で上映して下さっている学校もあります。
全国の中学校と高校に文部科学省から5月頃に送られています。



麻疹教育啓発ビデオ

はしかから
身を守るために

下のボタンをクリックするとビデオが開始されます。(映像時間: 約15分間)

Media Player (Windows) [25.4 MB] Video Start

QuickTime Player (Macintosh) [33.3 MB] Video Start

※ ビデオをご覧になるにはWindows Media Player
あるいはQuickTime Playerが必要です。

このビデオは行政機関、医療機関、教育機関の関係者を対象に、DVDでの配布(無料)も行っています。DVDの配布を希望する方は、「DVD配布申込用紙」に必要事項を記入の上、下記宛にFAXあるいは郵送をお願いいたします。

DVD配布申込用紙 (PDF)

用紙の送信先 FAX 03-5285-1129

用紙の郵送先住所 〒162-8640
東京都新宿区戸山1-23-1
国立感染症研究所
感染症情報センター第三室

※ 本ビデオを無断で改変して使用したり、営利目的で使用・複製・配布することはできません。

(2008/3/11 掲載)

麻疹のページへ

http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/Video/measlesVideo.html

是非ご利用ください。

麻疹(はしか)・風疹ワクチンの接種

- 接種不適当者に該当する人以外は全員受けることを目標としてください。



- 麻疹と風疹にかかったことが確実である人
- 両方のワクチンを2回ずつ接種したことが記録により確実な人

接種を受ける必要はありませんが、不確かな場合、記憶のみに基づく場合は、予防接種を受けてください。

記憶じゃなくて、記録を頼りに……
きおく きろく

年長児への予防接種時の注意点

- 妊娠していることに気づいていない場合、妊娠していることを話したくない場合もあるので、思春期以降の女性に接種する場合は、生理が遅れていないかどうか等について、個別に**妊娠に関して予診をつくす配慮**が必要です。
- 血管迷走神経反射**(注射の痛みや恐怖・不安等の精神的動揺により自律神経系が刺激され、全身の血管床が拡張するために脳血流が低下することで**血圧や心拍数の低下**を引き起こす生理的反応。**顔面蒼白、冷汗、気分不良、悪心・嘔吐、徐脈、血圧低下、失神**などの症状が見られる。臥位にて数分程度で回復する。)
が起こる可能性があります。

 - **献血時**で気分不良、吐き気、めまい、失神などが起こる**頻度約0.8%**(平成16年度):日本赤十字社HPより)

まれな副反応

- じんましん、アナフィラキシーショック (ゼラチン非含有になってから激減)
- 熱性けいれん (低年齢児の場合)
- 血管迷走神経反射 (年長児 ~ 思春期以降)
- 脳炎・脳症 (100 ~ 150万接種に1例以下): 麻疹を発症すると1000人に1人・風疹を発症すると4000 ~ 6000人に1人

麻疹

- SSPE (ワクチンによる発生はなし): 麻疹を発症すると10万人に1人

風疹

- 血小板減少性紫斑病 (100万接種に1例程度): 風疹を発症すると、3,000 ~ 5,000人に1人
- 関節痛 (年長児 ~ 思春期以降)

はしかは麻しん

三日ばしかは風しん

思い間違いが多いです！



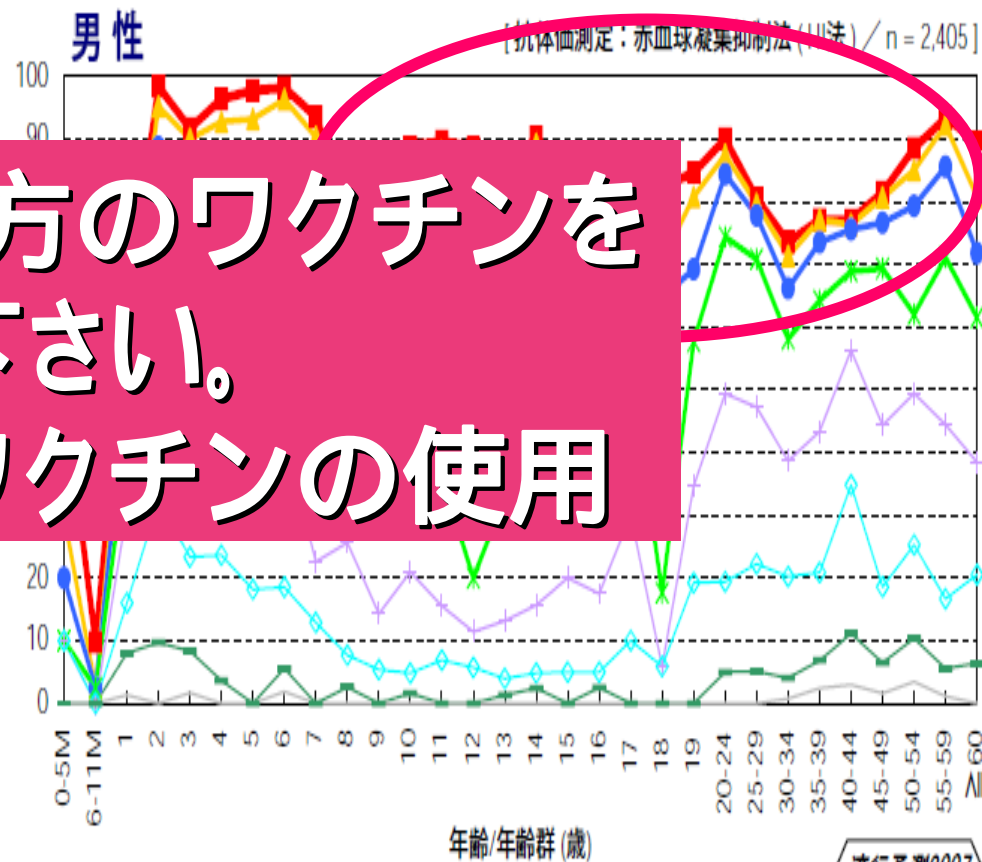
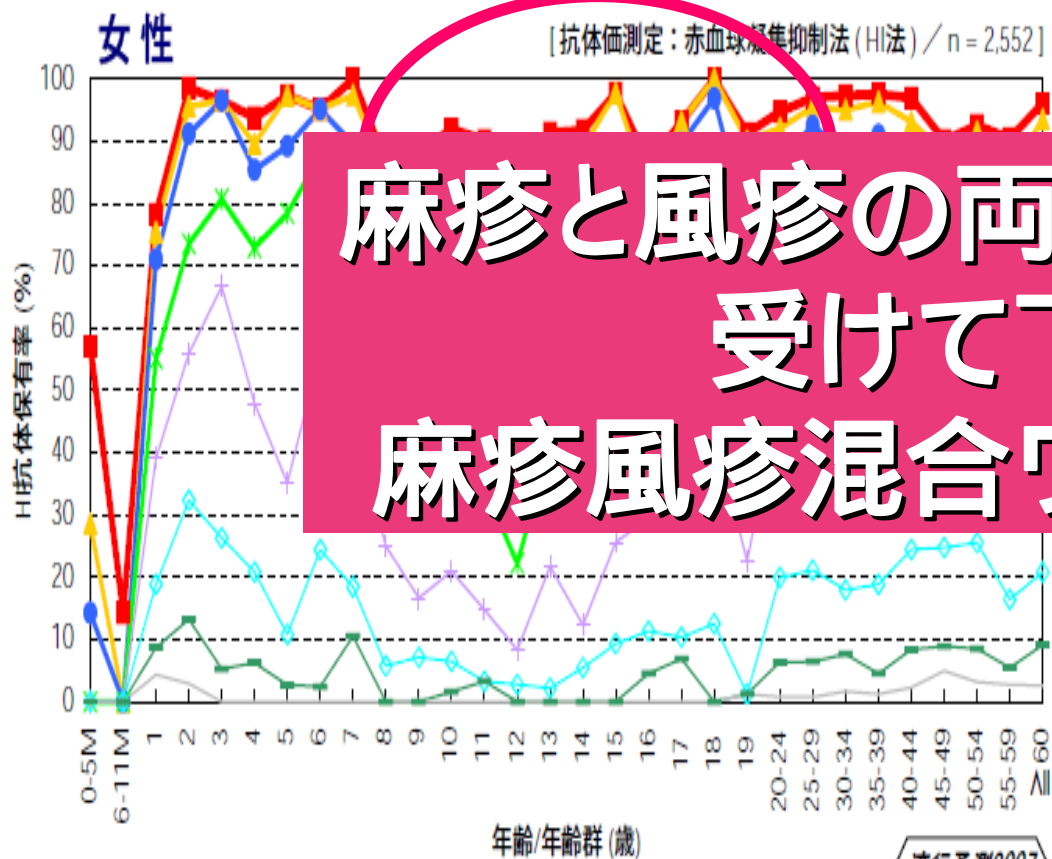
2007年
7~9月
時点の
調査

年齢/年齢群別 風疹HI抗体保有状況

~ 2007年度感染症流行予測調査より (2008年4月現在暫定値) ~

年齢/年齢群別 風疹HI抗体保有状況

~ 2007年度感染症流行予測調査より (2008年4月現在暫定値) ~



麻疹と風疹の両方のワクチンを受けて下さい。
麻疹風疹混合ワクチンの使用

抗体価 $\geq 1:8$ $\geq 1:16$ $\geq 1:32$ $\geq 1:64$ $\geq 1:128$ $\geq 1:256$ $\geq 1:512$ $\geq 1:1024$

抗体価 $\geq 1:8$ $\geq 1:16$ $\geq 1:32$ $\geq 1:64$ $\geq 1:128$ $\geq 1:256$ $\geq 1:512$ $\geq 1:1024$

学校における
麻疹
対策ガイドライン

麻疹
発生**1**の**予防**

麻疹に関する

基 礎 知 識

麻疹
発生時**2**の**対応**

麻疹に関する

参 考 資 料

都道府県
麻疹**3**対策会議
への協力

作成 国立感染症研究所感染症情報センター
監修 文部科学省・厚生労働省

麻疹発生の予防(平時の対応)

- 麻疹の感染力は強く、**基本再生産数 $R_0 = 12 \sim 18$** とされています(インフルエンザは2~3、風疹は5~7)。
- 具体的には、**教室や体育館等の閉鎖空間で1人がはしかを発症した人がいると、同室した人に感染し、免疫を持っていない者は90%以上の確率で発症すると考えられています。**

感染症対策の原則として、感染が拡大すればするほどその対応に膨大なエネルギーを要することが知られており、学校における麻疹対策は、平時から麻疹の流行が起きないように可能な限りの予防策を施すことが重要である。

麻疹発生時の対応

- 麻疹の発症が疑われる人が1名でも発生したらすぐ対応を開始することが重要です。

毎朝、



朝から37.5 以上なら
お休みしてもらおう

- 遅れば遅れるほど流行が拡大し、その対応に一層のエネルギーを要します。
- 終息宣言までの間(嚴重監視期間)は継続します
- また、麻疹を発症した人が不適切な扱いを受けることのないよう十分な配慮も求められます。
- 秋田県では、未接種未罹患者を出席停止とし、予防接種が済んでから登校するような対策がとられました。

平成20年度全国高等学校総合体育大会 (インターハイ)



**平成20年7月28日から8月20日
夏季大会の29競技。**

(陸上競技 体操 水泳 バasketボール バレーボール 卓球 ソフトテニス ハンドボール サッカー バドミントン ソフトボール 相撲 柔道 ポート 剣道 レスリング 弓道 テニス 登山 自転車 ボクシング ホッケー ウエイトリフティング ヨット フェンシング 空手道 アーチェリー なぎなた カヌー)

参加者数

選手・監督: 約33,000人

競技役員・補助員: 約28,000人

応援者(延べ数): 約600,000人
(平成17年度 千葉きらめき総体実績)

7 / 28に総合開会式



<http://www.spec.ed.jp/soutai/index.html>

平成20年度全国高等学校総合体育大会 (インターハイでの麻疹対策)


- 埼玉県の実行委員会で以下の対応を実施
- 6月中旬に、埼玉県教育局から、各都道府県の体育連盟あて体調管理について依頼されています。

罹患又は予防接種の実施状況の確認

大会期間中の毎朝検温

発熱時の早期受診依頼(発熱については、熱中症も視野にいた健康管理対策と位置づけられています。)

【広テレ! 子育て応援団携帯サイト】



子育て応援団
麻疹(はしか)をゼロに!!
【国立感染症研究所感染症情報センター×子育て応援団】コラボレーション企画

あなたのお子さんは、麻疹(はしか)の予防接種を受けていますか?



麻疹(はしか)は感染力が大変強い感染症です。
麻疹(はしか)から子どもたちを守り、流行させないために、子育て中のみなさんや2歳は、麻疹(はしか)の予防接種を子どもに受けさせましょう。1回受けたことがある人も2回目の接種が必要です。
みんなの力で2012年までに**はしかをゼロ**にしましょう!!
[予防接種の年齢](#)

- はしかの症状
- はしかはうつる
- はしか大流行
- なぜ大流行したの?
- はしかの予防
- なぜ2回接種なの?
- 予防接種の年齢
- 誕生日でチェック

子育て応援団 トップページ

! 免責事項
TOPに戻る

広島テレビ放送株式会社
Copyright (C)2008 Hiroshima Telecast Co., Ltd.

図1. 麻疹(はしか)をゼロに!!
特集トップページ



子育て応援団
麻疹風疹混合ワクチンを
1歳のお誕生日の
プレゼントにしましょう

麻疹風疹混合ワクチンを



1歳のお誕生日の
プレゼントにしましょう

現在、定期の予防接種としては、麻疹・風疹混合生ワクチンを原則として用いられていますが、ひとつずつ愛けたい場合は、麻疹単抗原ワクチン、風疹単抗原ワクチンを受けることができます。
2006年6月2日から、第一期(1歳児)および第二期(5~7歳未満で小学校就学前の1年間)の2回接種が始まりました。

お子様が1歳のお誕生日を迎えたら予防接種を忘れないようにプレゼントしてあげましょう。
※接種医療機関に関しては、お住まいの市町村(特別区)にお尋ねください。

情報：国立感染症研究所 感染症情報センター

- はしかの症状
- はしかはうつる
- はしか大流行
- なぜ大流行したの?
- はしかの予防
- なぜ2回接種なの?
- 予防接種の年齢
- 誕生日でチェック

■特集トップ

「麻疹(はしか)をゼロに!!」

子育て応援団 トップページ

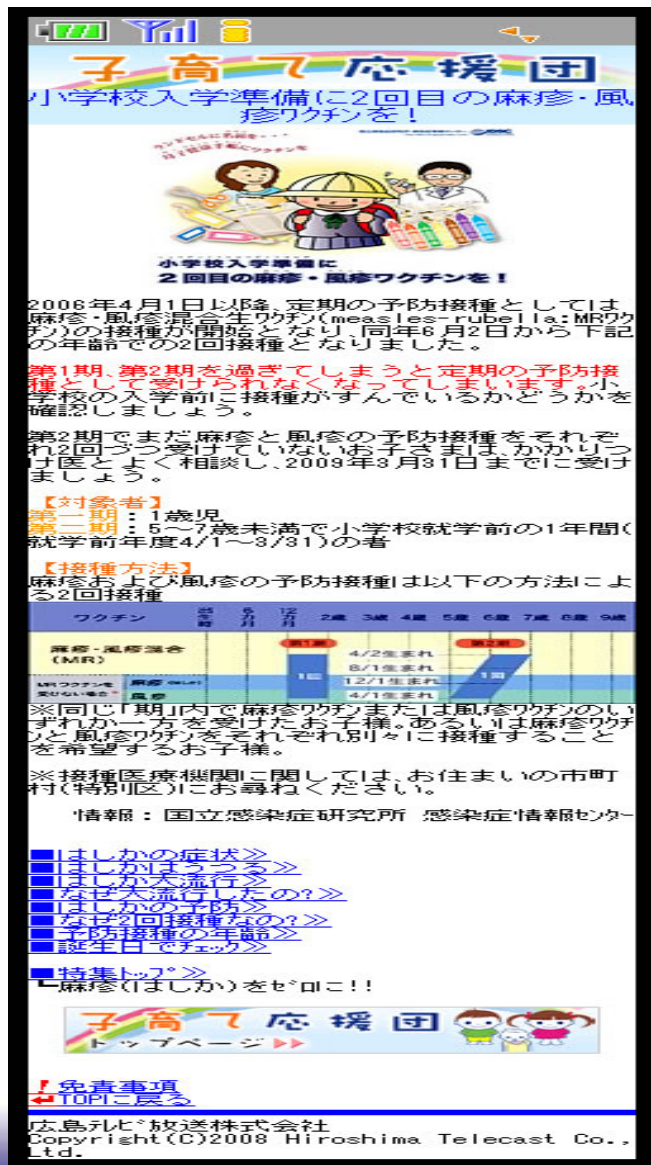
! 免責事項
TOPに戻る

広島テレビ放送株式会社
Copyright (C)2008 Hiroshima Telecast Co., Ltd.

図2. 麻疹(はしか)をゼロに!!
ポスター関連ページ

子育て応援団携帯サイト > 麻疹(はしか)をゼロに!! 一部ページ抜粋

図3



子育て応援団
小学校入学準備に2回目の麻疹・風疹ワクチンを!

2008年4月1日以降、定期的予防接種として1回、麻疹・風疹混合生ワクチン(mesles-rubella: MRワクチン)の接種が開始となり、同年8月2日から下記の年齢での2回接種となりました。

第1期、第2期を過ぎてしまうと定期的予防接種として受けられなくなってしまうので、小学校の入学前に接種がすすんでいるかどうかを確認しましょう。

第2期でまだ麻疹と風疹の予防接種をそれぞれ2回ずつ受けていないお子さまは、かかりつけ医とよく相談し、2009年3月31日までに受けましょう。

【対象者】
第二期：1歳児
第三期：5～7歳未満で小学校就学前の1年間(就学前年度4/1～3/31)の者

【接種方法】
麻疹および風疹の予防接種は以下の方法による2回接種

ワクチン	年齢	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
麻疹-風疹混合(MR)		1歳	4/2生まれ	5/7生まれ	12/7生まれ	4/7生まれ				
MRワクチン 2回接種	麻疹									
風疹										

※同じ「期」内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けたお子様。あるいは麻疹ワクチンと風疹ワクチンをそれぞれ別々に接種することを希望するお子様。

※接種医療機関に関しては、お住まいの市町村(特別区)にお尋ねください。

情報：国立感染症研究所 感染症情報センター

- はしかの症状>>
- はしかがうつる>>
- はしか大流行>>
- なぜ大流行したの?>>
- はしかの予防>>
- なぜ2回接種なの?>>
- 予防接種の年齢>>
- 誕生日でチェック>>

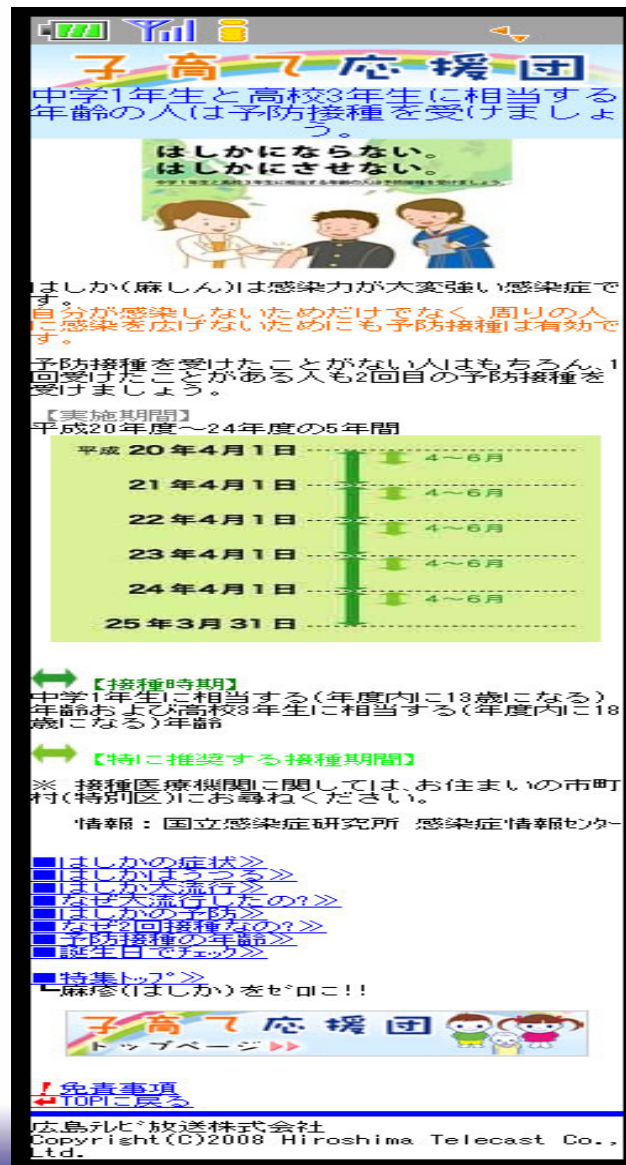
■特集トップ>>
麻疹(はしか)をゼロに!!

子育て応援団
トップページ>>

↑免責事項
TOPに戻る

広島テレビ放送株式会社
Copyright(C)2008 Hiroshima Telecast Co., Ltd.

図4



子育て応援団
はしかにならない。はしかにさせない。

はしか(麻疹)は感染力が大変強い感染症です。自分が感染しないだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種は有効です。

予防接種を受けたことがない人ももちろん、1回受けたことがある人も2回目の予防接種を受けましょう。

【実施期間】
平成20年度～24年度の5年間

年度	接種時期
平成20年4月1日	4～6月
21年4月1日	4～6月
22年4月1日	4～6月
23年4月1日	4～6月
24年4月1日	4～6月
25年3月31日	4～6月

【接種時期】
中学1年生に相当する(年度内に13歳になる)年齢および高校3年生に相当する(年度内に18歳になる)年齢

【特に推奨する接種期間】

※ 接種医療機関に関しては、お住まいの市町村(特別区)にお尋ねください。

情報：国立感染症研究所 感染症情報センター

- はしかの症状>>
- はしかがうつる>>
- はしか大流行>>
- なぜ大流行したの?>>
- はしかの予防>>
- なぜ2回接種なの?>>
- 予防接種の年齢>>
- 誕生日でチェック>>

■特集トップ>>
麻疹(はしか)をゼロに!!

子育て応援団
トップページ>>

↑免責事項
TOPに戻る

広島テレビ放送株式会社
Copyright(C)2008 Hiroshima Telecast Co., Ltd.

図3. 麻疹(はしか)をゼロに!!

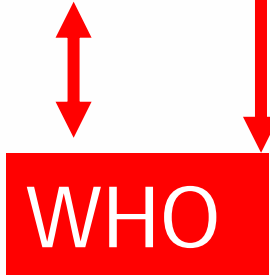
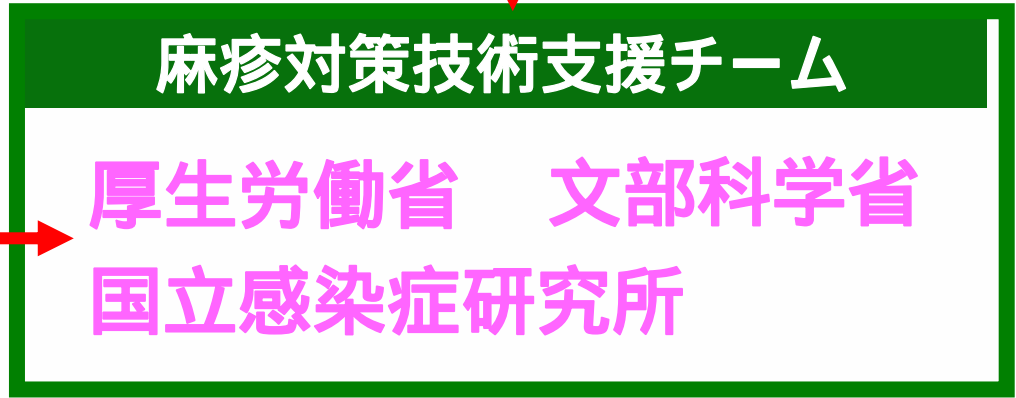
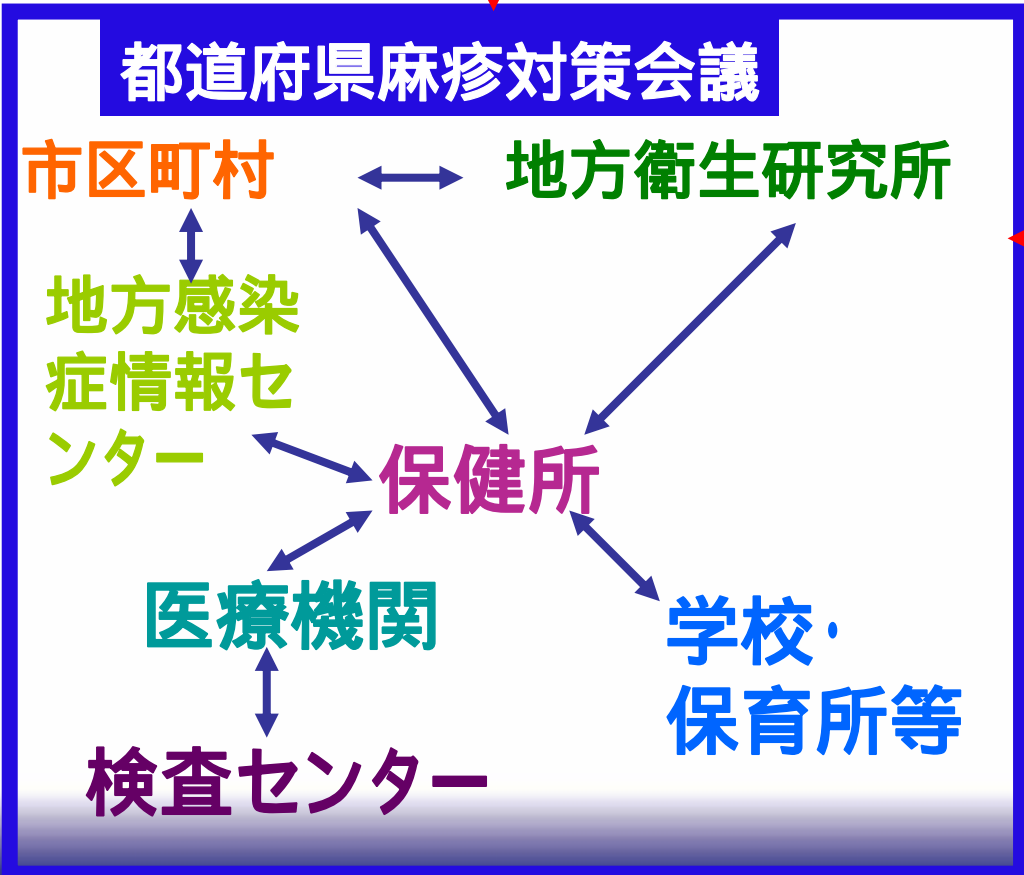
ポスター関連ページ
小学校入学前

図4.麻疹(はしか)をゼロに!!

ポスター関連ページ
中学校1年生と高校3年生

はしかにならない！はしかにさせない！ 麻疹対策の連携

国の麻疹対策推進会議 (国をあげての麻疹対策:2012年eliminationをめざして)



麻疹対策技術支援チーム

国立感染症研究所 感染症情報センター(五十音順)

大日康史、岡部信彦、木村博一、佐藤 弘、島田智恵、菅原民枝、
砂川富正、多田有希、谷口清州、多屋馨子、松井珠乃、谷口無我、
安井良則、山下和予、山本明史、山本久美

国立感染症研究所FETP



